

(様式第 10)

奈医病管第 85 号  
平成 28 年 10 月 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 公立大学法人奈良県立医科大学  
理事長 細井裕司

奈良県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒634-8522 奈良県橿原市四条町 8 4 0
氏 名	公立大学法人 奈良県立医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

奈良県立医科大学附属病院
--------------

3 所在の場所

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 8 4 0	電話 (0742)22-3051
------------------------------	------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
②医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1循環器・腎臓・代謝内科 2呼吸器・アレルギー・血液内科 3消化器・内分泌代謝内科	
4感染制御内科 5神経内科 6 7 8 9 10 11	
12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無				
外科と組み合わせた診療科名					
1 消化器外科・小児外科・乳腺外科 部外科	2 心臓血管外科	3 呼吸器外科	4 耳鼻咽喉・頭頸	5 形成外科	6 7 8 9 10 11
12	13	14			
診療実績					

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科
⑦産婦人科	8産科	9婦人科	⑩眼科	11耳鼻咽喉科	⑫放射線科
13放射線診断科	⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科		

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無				
歯科と組み合わせた診療科名					
1 歯科口腔外科	2	3	4	5	6 7
歯科の診療体制					

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科	2 リハビリテーション科	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
108床	9床	床	床	875床	992床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 年 月 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	533人	101人	569.2人	看護補助者	66人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	28人	10人	30.2人	理学療法士	28人	臨床検査技師	86人
薬 剤 師	60人	7人	64.1人	作業療法士	8人	衛生検査技師	1人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助 産 師	41人	4人	43.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看 護 師	974人	35人	997.1人	臨床工学士	36人	医療社会事業従事者	27人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	0人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	184人
管理栄養士	10人	0人	10.0人	診療放射線技師	54人	その他の職員	0人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年 9月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	31人	眼 科 専 門 医	11人
外 科 専 門 医	35人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	15人	放射線科専門医	28人
小児科専門医	21人	脳神経外科専門医	16人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	27人
泌尿器科専門医	12人	麻酔科専門医	22人
産婦人科専門医	18人	救急科専門医	8人
		合 計	261人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 古家 仁 ) 任命年月日 平成21年 4月 1日

医療安全推進室長 (平成21年4月1日～平成24年3月末日)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	774.7人	18.1人	792.8人
1日当たり平均外来患者数	1442.4人	75.1人	1517.5人
1日当たり平均調剤数	3105.1剤		
必要医師数	169人		
必要歯科医師数	7人		
必要薬剤師数	39人		
必要(准)看護師数	448人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	580.06m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	24床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 263.6 m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 台		病床数	21床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 67.9 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 尿検査システム 等			
細菌検査室	745.9 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析システム 等			
病理検査室	m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 検体搬送システム 等			
病理解剖室	226.2 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電動解剖/コグニカットシステム 等			
研究室	1589.4m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 各種実験・研究装置 等			
講義室	460.4m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員	317人
図書室	1303.1m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	5室	蔵書数	146,730冊程度

- 注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	84.4%	逆紹介率	67.1%
算出根拠	A：紹介患者の数	18,150人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,303人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	2,352人	
	D：初診の患者の数	24,285人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・ <del>無</del>
委員の選定理由の公表の有無	有・ <del>無</del>
公表の方法 現在、検討中	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
3	球脊髄性筋萎縮症	56	ベーチェット病	38
33	筋萎縮性側索硬化症	57	特発性拡張型心筋症	104
2	脊髄性筋萎縮症	58	肥大型心筋症	33
0	原発性側索硬化症	59	拘束型心筋症	0
13	進行性核上性麻痺	60	再生不良性貧血	56
248	パーキンソン病	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
4	ハンチントン病	63	特発性血小板減少性紫斑病	69
0	神経有棘赤血球症	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
4	シャルコー・マリイ・トゥース病	65	原発性免疫不全症候群	6
78	重症筋無力症	66	IgA 腎症	58
0	先天性筋無力症候群	67	多発性嚢胞腎	20
78	多発性硬化症/視神経脊髄炎	68	黄色靱帯骨化症	11
20	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	69	後縦靱帯骨化症	60
3	封入体筋炎	70	広範脊柱管狭窄症	4
0	クドウ・深瀬症候群	71	特発性大腿骨頭壊死症	95
28	多系統萎縮症	72	下垂体性ADH分泌異常症	10
86	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
3	ライゾーム病	74	下垂体性PRL分泌亢進症	9
1	副腎白質ジストロフィー	75	クッシング病	6
5	ミトコンドリア病	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
45	もやもや病	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12
0	プリオン病	78	下垂体前葉機能低下症	105
0	亜急性硬化性全脳炎	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
0	進行性多巣性白質脳症	80	甲状腺ホルモン不応症	0
2	HTLV-I関連脊髄症	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
0	特発性基底核石灰化症	82	先天性副腎低形成症	0
19	全身性アミロイドーシス	83	アジソン病	0
0	ウルリッヒ病	84	サルコイドーシス	83
0	遠位型ミオパチー	85	特発性間質性肺炎	21
0	ベスレムミオパチー	86	肺動脈性肺高血圧症	17
1	自己食気空胸性ミオパチー	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
0	シュワルツ・ヤンベル症候群	88	慢性血栓性肺高血圧症	8
22	神経線維腫症	89	リンパ管筋腫症	2
32	天疱瘡	90	網膜色素変性症	13
2	表皮水疱症	91	バッド・キアリ症候群	3
5	膿疱性乾癬(汎発型)	92	特発性門脈圧亢進症	2
0	スティーヴンス・ジョンソン症候群	93	原発性胆汁性肝硬変	101
0	中毒性表皮壊死症	94	原発性硬化性胆管炎	1
26	高安動脈炎	95	自己免疫性肝炎	10
1	巨細胞性動脈炎	96	クローン病	69
14	結節性多発動脈炎	97	潰瘍性大腸炎	248
52	顕微鏡的多発血管炎	98	好酸球性消化管疾患	0
8	多発血管炎性肉芽腫症	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
3	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
26	悪性関節リウマチ	101	腸管神経節細胞減少症	0
34	バージャー病	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
2	原発性抗リン脂質抗体症候群	103	CFC症候群	0
241	全身性エリテマトーデス	104	コステロ症候群	0
98	皮膚筋炎/多発性筋炎	105	チャージ症候群	0
103	全身性強皮症	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
34	混合型結合組織病	107	全身型若年性特発性関節炎	0
20	シェーグレン症候群	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
7	成人スチル病	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
4	再発性多発軟骨炎	110	ブラウ症候群	0

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
113	筋ジストロフィー	5	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ベリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスモンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	トラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウイリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治額回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無Bリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	43	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	1
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性降炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	3
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

1472

1295

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・高度難聴指導管理料
・糖尿病合併症管理料	・がん性疼痛緩和指導管理料
・がん患者指導管理料1、2及び3	・外来緩和ケア管理料
・移植後患者指導管理料	・糖尿病透析予防指導管理料
・外来放射線照射診療料	・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
・がん治療連携計画策定料	・排尿自立指導料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・薬剤管理指導料
・医療機器安全管理料1	・医療機器安全管理料2
・医療機器安全管理料(歯科)	・歯科治療総合医療管理料
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・胎児心エコー法
・ヘッドアップティルト試験	・長期継続頭蓋内脳波検査
・光トポグラフィー	・神経学的検査
・補聴器適合検査	・小児食物アレルギー負荷検査
・内服・点滴誘発試験	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・画像診断管理加算1	・画像診断管理加算2
・遠隔画像診断	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・CT撮影及びMRI撮影	・冠動脈CT撮影加算
・外傷全身CT加算	・心臓MRI撮影加算
・乳房MRI撮影加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・外来化学療法加算1	・無菌製剤処理料
・心大血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・がん患者リハビリテーション料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・通院・在宅精神療法	・認知療法・認知行動療法1
・精神科作業療法	・精神科ショート・ケア「大規模なもの」

・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・精神科デイ・ケア「大規模なもの」
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・医療保護入院等診療料	・硬膜外自家血注入
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)
・透析液水質確保加算2	・CAD/CAM冠
・歯科技工加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)&及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1及び又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・内視鏡下筋層切開術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(レーザーシースを用いるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・補助人工心臓	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・腹腔鏡下肝切除術	・生体部分肝移植術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・腹腔鏡下臍頭十二指腸切除術
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・同種死体腎移植術	・生体腎移植術
・膀胱水圧拡張術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・人工尿道括約筋植込・置換術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・輸血管管理料 I	・貯血式自己血輸血管管理体制加算
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・麻酔管理料(I)	・麻酔管理料(II)
・放射線治療専任加算	・外来放射線治療加算

・高エネルギー放射線治療	・1回線量増加加算
・強度変調放射線治療 (IMRT)	・画像誘導放射線治療加算 (IGRT)
・体外照射呼吸性移動対策加算	・定位放射線治療
・定位放射線治療呼吸移動対策加算	・画像誘導密封小線源治療加算
・保険医療機関間の連携による病理診断	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・テレパソロジーによる術中迅速細胞診	・病理診断管理加算2
・口腔病理診断管理加算2	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・歯科矯正診断料	・顎口腔機能診断料 (顎変形症 (顎離断等の手術を必要とするものに限る。)) の手術前後における歯科矯正に係るもの)





1 研究費補助等の実績

番号	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	刺激にตอบสนองして光る腸管神経の再生・新生機構の解明と制御の新たな展開	高木 都	整形外科学	6,890,000	補助委託 文部科学省
2	神経系腫瘍幹細胞を標的とした重粒子線と抗VEGF抗体併用の有効性	長谷川 正俊	放射線腫瘍医学	7,150,000	補助委託 文部科学省
3	骨腫瘍切除後の広範囲骨欠損に対する再生医療技術を用いた再建技術の開発	内原 好信	整形外科学	1,560,000	補助委託 文部科学省
4	幼少期の咀嚼が成長後の脳発達や行動に及ぼす影響について	松末 友美子	口腔外科学	1,300,000	補助委託 文部科学省
5	肺高血圧—右心不全発症における新規TMEM100遺伝子の病態生理的意義の解明	斎藤 能彦	第一内科学	2,730,000	補助委託 文部科学省
6	自己細胞移植による次世代型血友病A治療の創出	嶋 緑倫	小児科学	4,680,000	補助委託 文部科学省
7	臓器再生・移植医療を目指したiPS腸管を用いた機能的膵臓の臓器分化誘導法の開発	山田 高嗣	消化器・総合外科学	4,550,000	補助委託 文部科学省
8	iPS腸管作製技術を応用した難治性腸疾患に対する新たな腸管再生・移植医療への挑戦	中島 祥介	消化器・総合外科学	5,720,000	補助委託 文部科学省
9	胎児期子宮内膜症発症説の実証と癌化機序の解明	小林 浩	産婦人科学	3,120,000	補助委託 文部科学省
10	筋再生の分子機構を指標とした骨転移患者に対する安全で効果的なりハビリテーション	城戸 顕	整形外科学	2,470,000	補助委託 文部科学省
11	原発性肝細胞癌に対する薬物動態に基づく新規治療法および新規バイオマーカーの開発	浪崎 正	第三内科学	1,560,000	補助委託 文部科学省
12	白内障重症度が非視覚的光感受性に及ぼす影響：1100名の高齢者調査	上田 哲生	眼科学	2,080,000	補助委託 文部科学省
13	循環器疾患患者の終末期医療に関する意思決定を支援する体制を構築するための研究	岡山 悟志	第一内科学	1,560,000	補助委託 文部科学省
14	三次元右室分割モデルを用いた三次元的右室部位別心機能評価のための新手法の開発	水野 麗子	中央臨床検査部	1,950,000	補助委託 文部科学省
15	肺の気腫化と線維化はなぜ均等に起こらないのか？：力学的異方性からのアプローチ	友田 恒一	第二内科学	1,430,000	補助委託 文部科学省
16	パーキンソン病とサーカディアンリズムに関する大規模調査	形岡 博史	神経内科学	1,950,000	補助委託 文部科学省
17	黄色ブドウ球菌菌血症の疫学の変遷と最適な治療法の解明	笠原 敬	感染症センター	1,170,000	補助委託 文部科学省
18	凝固第Ⅲ因子活性化・不活化機構の解明と新規凝固・抗凝固薬の応用に関する基礎的研究	野上 恵嗣	小児科学	2,470,000	補助委託 文部科学省
19	核成分に対する免疫寛容の破綻からSLE発症に至る機序の解明	宮川 史	皮膚科学	1,690,000	補助委託 文部科学省
20	脳梗塞患者でのアルツハイマー型認知症の発症リスクに関するPETアミロイド画像研究	安野 史彦	精神医学	1,560,000	補助委託 文部科学省
21	肺癌IVR治療における新規デバイスと治療法の開発	田中 利洋	放射線医学	1,950,000	補助委託 文部科学省
22	下肢閉塞性動脈硬化症に対する新規生体吸収型バイオスタントの開発	吉川 公彦	放射線医学	1,820,000	補助委託 文部科学省
23	難治性消化器癌に対する新たな集学的癌免疫治療戦略の開発	庄 雅之	消化器・総合外科学	1,950,000	補助委託 文部科学省
24	フィブリノーゲンによる癌の転移メカニズムの解明と新規癌治療への応用	若月 幸平	消化器・総合外科学	1,560,000	補助委託 文部科学省
25	多能性幹細胞からの誘導腸管を用いた、生体内長期培養による腸管移植への試み	植田 剛	消化器・総合外科学	1,560,000	補助委託 文部科学省
26	抗酸化作用を強化した十全大補湯を用いて放射線性腸炎を予防する	小山 文一	中央内視鏡・超音波部	2,080,000	補助委託 文部科学省
27	重症脊髄損傷に対する自家組織細胞シートを用いた新規再生医療技術の開発	田中 康仁	整形外科学	1,820,000	補助委託 文部科学省
28	Translational applications of broad spectrum natural compounds and phytochemicals or their derivatives to the novel treatment strategy	朴木 寛弥	整形外科学	1,040,000	補助委託 文部科学省
29	呼吸停止時の人工赤血球の有用性の検討	内藤 祐介	麻酔科学	910,000	補助委託 文部科学省
30	分子生物学プロファイリングによる膀胱上皮内癌治療効果と予後予測マーカーの探索	藤本 清秀	泌尿器科学	2,600,000	補助委託 文部科学省
31	妊娠高血圧症候群の病態悪化に関わる脂肪組織の影響～新規培養法を用いた証	赤坂 珠理晃	母体胎児学センター（FETC）	1,690,000	補助委託 文部科学省
32	頭頸部癌におけるバイオマーカーとしてのREG遺伝子の作用機序の解明	岡本 英之	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,690,000	補助委託 文部科学省
33	高齢者の視機能がOOLに及ぼす影響と加齢黄斑変性の病態解明	緒方 奈保子	眼科学	2,080,000	補助委託 文部科学省
34	肝臓・腎臓における各種炎症病態形成へのADAMTS13の関与	西尾 健治	総合医学	1,300,000	補助委託 文部科学省
35	即時荷重インプラントの骨界面における荷重伝達とオーバーロードの閾値の解明	杉浦 勉	口腔外科学	1,430,000	補助委託 文部科学省
36	口腔癌細胞における腫瘍中性子捕捉療法による転移・浸潤能の抑制効果の検討	桐田 忠昭	口腔外科学	1,300,000	補助委託 文部科学省
37	長鎖non-codingRNAの制御を介した新たな口腔癌治療戦略	山本 一彦	口腔外科学	2,080,000	補助委託 文部科学省
38	顔面の形態形成を制御する新規シグナルネットワークの解明	川上 正良	口腔外科学	1,690,000	補助委託 文部科学省
39	慢性閉塞性肺疾患に対する新規栄養療法開発：進行抑制から発症予防までをめざして	吉川 雅則	栄養管理部	1,170,000	補助委託 文部科学省
40	骨腫瘍に対する患肢温存を目的とした細胞活性を有した液体窒素処理骨移植法の開発	藤間 保晶	整形外科学	1,430,000	補助委託 文部科学省
41	ピロリ菌感染により幹細胞レベルで誘発されるメチル化の同定	浅田 潔	第三内科学	1,040,000	補助委託 文部科学省
42	周術期医療のクオリティ・インディケーターとしての麻酔満足度尺度の開発	田中 優	中央手術部	1,690,000	補助委託 文部科学省
43	がん放射線治療の均質化のためのモバイル遠隔教育システムの構築	玉本 哲郎	放射線腫瘍医学	1,040,000	補助委託 文部科学省
44	可溶性Flt-1のCXK関連心不全における役割と肺水腫発症抑制効果の検討	竹田 征治	第一内科学	1,040,000	補助委託 文部科学省
45	自己食空胞性ミオパチーにおけるオートファジー分子機構の病態関与の解明	杉江 和馬	神経内科学	1,430,000	補助委託 文部科学省
46	造血幹細胞移植後の致死性疾患である血栓性微小血管障害症の新規診断法と治療法の開発	松本 雅則	輸血部	1,560,000	補助委託 文部科学省

小計

番号	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
47	社会経験依存的に発達する前頭前野の興奮性神経回路は治療の手がかりとなるか	芳野 浩樹	精神医学	910,000	補委 文部科学省
48	コラーゲン管内での三次元培養によるES細胞から心筋細胞への効率的な分化誘導	谷口 繁樹	胸部・心臓血管外科学	1,690,000	補委 文部科学省
49	Ischemic Postconditioning に関する電気生理学的検討	中川 一郎	脳神経外科学	1,690,000	補委 文部科学省
50	再生医療技術を応用した血管付き人工骨による四肢偽関節の治療に関する研究	村田 景一	整形外科	1,170,000	補委 文部科学省
51	心臓血管手術中におけるレーザーベックル法による眼血流測定と術後視機能障害の検討	林 浩伸	麻酔科学	650,000	補委 文部科学省
52	内服可能な大豆タンパクペプチドによる卵巣がん分子標的抗腫瘍薬の開発	春田 祥治	産婦人科学	650,000	補委 文部科学省
53	卵巣明細胞癌の細胞周期チェックポイント機構修飾による新規治療法の解明	吉田 昭三	産婦人科学	1,300,000	補委 文部科学省
54	耳鳴発生の分子機構の解明と新規治療法の模索	北原 礼	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	910,000	補委 文部科学省
55	平衡リハビリテーションにおける感覚代行技術の実用化に向けた基礎研究	山中 敏彰	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,430,000	補委 文部科学省
56	OSASの多様性に対応した個別化治療の構築—薬物療法の可能性の探索—	山内 基雄	第二内科学	1,690,000	補委 文部科学省
57	肝前駆細胞と既存薬剤を用いた肝疾患進展抑制治療法の開発	吉治 仁志	第三内科学	1,430,000	補委 文部科学省
58	NASHの発症進展に関わる生活習慣病態と凝固線系を標的とした新規治療法の確立	野口 隆一	第三内科学	1,690,000	補委 文部科学省
59	メッセンジャーRNA投与による新たな心筋症治療法の開発と評価	尾上 健児	第一内科学	2,470,000	補委 文部科学省
60	APC及びβPSによる第VIII因子制御機構の解明及び新規血友病A治療薬の開発	武山 雅博	小児科学	1,300,000	補委 文部科学省
61	血管内皮細胞による血流応答機構の解明および新規血圧止血制御戦略の構築	志田 泰明	小児科学	1,170,000	補委 文部科学省
62	低酸素性虚血性脳症に対する新規トロンボモジュリンによる脳保護作用の解明	高橋 幸博	脳神経外科	1,690,000	補委 文部科学省
63	ウイルス由来ケモカイン受容体に着目したDHSにおけるHHV6再活性化機序の解明	浅田 秀夫	皮膚科学	1,950,000	補委 文部科学省
64	MRI分子画像を用いたナノDDSによる体内動態の解明から治療効果早期診断への	西尾福 英之	放射線医学	1,690,000	補委 文部科学省
65	進行肝細胞癌に対する薬剤溶出性ビーズを用いた新規肝動脈塞栓術の開発	阪口 浩	放射線医学	910,000	補委 文部科学省
66	クモ膜下出血後の遅発性脳虚血に対するADAMTS13の新規脳保護機能の解明	藤岡 政行	救急医学	1,170,000	補委 文部科学省
67	悪性神経膠腫に対する抗てんかん薬を中心とする新規併用療法の開発と臨床応用	中瀬 裕之	脳神経外科学	2,340,000	補委 文部科学省
68	骨形成細胞シートを併用した骨延長術の有用性に関する実験的研究	面川 庄平	整形外科	1,300,000	補委 文部科学省
69	全身麻酔薬が糖尿病環境下にある癌細胞の増殖能に与える影響	瓦口 至孝	麻酔科学	1,300,000	補委 文部科学省
70	非眼科的手術後の眼合併症の発生状況とその誘因に関する検討	川口 昌彦	麻酔科学	1,430,000	補委 文部科学省
71	癌幹細胞マーカーCD44v9を標的とした難治性卵巣がんの治療戦略	棚瀬 康仁	産婦人科学	1,040,000	補委 文部科学省
72	卵巣明細胞癌に対する新たな転写因子・セリンプロテアーゼ系マーカーの有用性	古川 直人	産婦人科学	1,040,000	補委 文部科学省
73	軟骨伝導補聴器の音伝導効率の向上に関する研究	西村 忠己	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,430,000	補委 文部科学省
74	脳蘇生におけるアミオダロンの脳保護効果に関する研究	太田 一郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,690,000	補委 文部科学省
75	脳蘇生におけるアミオダロンの脳保護効果に関する研究	井上 聡己	集中治療部	1,040,000	補委 文部科学省
76	即時・早期荷重インプラントの骨結合獲得のための微小動揺の閾値と荷重開始時期の解明	村上 和宏	口腔外科学	1,040,000	補委 文部科学省
77	BRCA2のDSBを介した温熱誘導細胞死における修復経路の選択機構の解明	堀原 淳久	口腔外科学	1,430,000	補委 文部科学省
78	網膜再生の両生類モデルを用いた幹細胞性の維持と細胞分化の機構	荒木 正介	生物学	1,830,432	補委 文部科学省
79	社会的経験依存性前頭前野ミエリン形成と同部位シナプス形成との相関についての検証	牧之段 学	精神医学	1,040,000	補委 文部科学省
80	卵巣癌転移抑制効果を発揮するバンドエイド型短鎖ペプチドの試作と実証実験	小林 浩	産婦人科学	2,860,000	補委 文部科学省
81	軽度な脊髄損傷の新規薬物治療法の開発	高木 都	整形外科	2,080,000	補委 文部科学省
82	新規蛍光プローブの化学的ナビゲーションを応用した子宮頸癌円錐切除範囲の決定	岩井 加奈	産婦人科学	1,690,000	補委 文部科学省
83	コラーゲン線維の配向性を考慮した科学的皮膚移植術への挑戦	桑原 理充	形成外科	1,560,000	補委 文部科学省
84	ANP系のミネラルコルチコイド受容体を介する交感神経系抑制機序の解明	中川 仁	第一内科学	1,300,000	補委 文部科学省
85	睡眠時無呼吸症候群によるインスリン抵抗性の分子機構の解明	太田 浩世	第二内科学	2,080,000	補委 文部科学省
86	PIGFを用いた慢性腎臓病における心血管病、腎障害進展の新規予測法と治療法の確立	松井 勝	第一内科学	1,300,000	補委 文部科学省
87	社会経験依存性に発達する前頭前野の分子基盤の解明	紀本 劇兵	精神医学	1,560,000	補委 文部科学省
88	自閉症マウスにおけるミクログリア機能の多角的解析	井川 大輔	精神医学	1,300,000	補委 文部科学省
89	頭頸部癌放射線療法後の有害事象の体系化・正常組織障害予測モデルを用いて	森本 将裕	放射線腫瘍医学	3,770,000	補委 文部科学省
90	寡分割大線量照射におけるLinear-Quadraticモデルの検討	藤谷 信得	中央放射線部	2,080,000	補委 文部科学省
91	ヒト肺癌におけるCD200発現の臨床病理学的意義解明と新規標的治療の開発	木下 正一	消化器・総合外科学	1,430,000	補委 文部科学省
92	肺癌におけるNectin Family制御による新規治療法の開発	西和田 敏	消化器・総合外科学	1,950,000	補委 文部科学省
93	NMBAsの中樞神経への影響の解析	新城 武明	中央手術部	1,950,000	補委 文部科学省

番号	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
94	着色眼内レンズがサーカディアンリズムに及ぼす影響に関する無作為比較試験	西 智	眼科学	1,560,000	補委託 文部科学省
95	CIHV-6感染者におけるどうぶつ膜炎発生の割合とその特徴について	吉川 匡宣	眼科学	390,000	補委託 文部科学省
96	下顎骨再建手術シュミレーションシステムの開発	上田 順宏	口腔外科学	2,730,000	補委託 文部科学省
97	乳歯歯髓由来細胞による唇顎口蓋裂患者の顎裂治療	柳生 貴裕	口腔外科学	1,170,000	補委託 文部科学省
98	近赤外線スペクトロスコピーを用いた統合失調症発症予測因子の検討	太田 豊作	精神医学	780,000	補委託 文部科学省
99	モルモットを用いた骨導超音波聴覚の知覚メカニズムと音響負荷の影響についての研究	岡安 唯	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,170,000	補委託 文部科学省
100	即時荷重インプラントにおいて骨結合を阻害する微小動揺の閾値の解明	堀田 聡	口腔外科学	1,300,000	補委託 文部科学省
101	口腔がんにおける腫瘍中性子捕捉療法後の細胞死メカニズムの解明	山川 延宏	口腔外科学	1,430,000	補委託 文部科学省
102	NOTCH1 選択的阻害による新たな肝再生療法の可能性	北出 光輝	第三内科学	1,170,000	補委託 文部科学省
103	iPS細胞を用いた培養系・移植実験系による統合失調症の神経細胞病態解明	鳥塚 通弘	精神医学	1,950,000	補委託 文部科学省
104	ユビキチン修飾系を標的とした新たな癌治療法の臨床導入を目的とした研究	右田 和寛	消化器・総合外科学	1,950,000	補委託 文部科学省
105	獲得免疫による再発予防を目指したT細胞不活化制御による新規集学的治療戦略の開発	安田 里司	腫瘍センター	1,690,000	補委託 文部科学省
106	超免疫不全マウスを用いた膠芽腫に対する免疫細胞化学療法の開発	松田 良介	脳神経外科学	1,300,000	補委託 文部科学省
107	広範囲骨欠損に対する骨形成細胞シートと血管束移植を用いた新規骨再建法確立の試み	清水 隆昌	整形外科	1,300,000	補委託 文部科学省
108	ミノサイクリンが発達段階の脳における全身麻酔薬の神経毒性を抑制できるか?	西和田 忠	麻酔科学	1,690,000	補委託 文部科学省
109	がん幹細胞と上皮間葉転換による膀胱上皮内癌のBCG療法抵抗性の解明	井上 剛志	泌尿器科学	1,560,000	補委託 文部科学省
110	膀胱癌微小環境中のCXCL1発現と尿中Exosome内CXCL1検出の臨床応用	三宅 牧人	泌尿器科学	1,040,000	補委託 文部科学省
111	骨導超音波を用いた新しい耳鳴マスカー療法の検討	山下 哲範	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	910,000	補委託 文部科学省
112	ラット下顎骨顎裂モデルを用いた骨芽細胞シートの顎骨再生に関する基礎的研究	前田 雅彦	口腔外科学	1,300,000	補委託 文部科学省
113	MIA gene familyシグナルによる口腔癌の診断・治療の新展開	栗原 都	口腔外科学	1,560,000	補委託 文部科学省
114	腫瘍中性子捕捉療法(BNCT)による口腔癌細胞の生と死の制御機構の多角的解析	仲川 洋介	麻酔科学	829,298	補委託 文部科学省
115	幼児聴力検査の検査音に親の呼びかけ声を用いた検討	斎藤 修	医療技術センター	300,000	補委託 文部科学省
116	収縮性の保持された心不全と血管内皮機能の関連についての検討	守川 義信	第一内科学	500,000	補委託 文部科学省
117	2500人の糖尿病患者集団の10年予後からみた治療戦略に対する検討	斎藤 能彦	第一内科学	1,200,000	補委託 厚生労働省
118	成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究	笠原 敬	感染症センター	500,000	補委託 厚生労働省
119	希少難治性筋疾患に関する調査研究	杉江 和馬	神経内科学	1,300,000	補委託 厚生労働省
120	慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患の診療ガイドライン作成と患者レジストリの構築	浅田 秀夫	皮膚科学	750,000	補委託 厚生労働省
121	スモンに関する調査研究	上野 聡	神経内科学	700,000	補委託 厚生労働省
122	重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	浅田 秀夫	皮膚科学	900,000	補委託 厚生労働省
123	非典型型溶血性尿毒症候群(aHUS)の全国調査研究	松本 雅則	輸血部	130,000	補委託 厚生労働省
124	血液凝固異常症等に関する研究	松本 雅則	輸血部	1,500,000	補委託 厚生労働省
125	早老症の実態把握と予後改善を目指す集学的研究	田中 康仁	整形外科	500,000	補委託 厚生労働省
126	特発性心筋症に関する調査研究	斎藤 能彦	第一内科学	300,000	補委託 厚生労働省
127	呼吸不全に関する調査研究	木村 弘	第二内科学	150,000	補委託 厚生労働省
128	重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	小豆澤 宏明	皮膚科学	900,000	補委託 厚生労働省
129	臨床効果データベースの連携及び効率的運用のための研究	斎藤 能彦	第一内科学	1,800,000	補委託 厚生労働省
130	科学的根拠に基づく輸血ガイドラインの策定等に関する研究	松本 雅則	輸血部	207,500	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
131	最新のIVRによる症状緩和についての研究	穴井 洋	放射線医学	1,000,000	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
132	血友病とその治療に伴う種々の合併症克服に関する研究	嶋 緑倫	小児科学	12,090,000	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
133	関節鏡視下自己骨髄間葉系幹細胞移植による関節軟骨欠損修復-多施設共同、非盲検、ランダム化、並行比較試験	田中 康仁	整形外科	2,500,000	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
134	標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	藤本 清秀	泌尿器科学	299,000	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
135	標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	平尾 佳彦	泌尿器科学	299,000	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
136	精神疾患患者に対する早期介入とその体制の確立のための研究	岸本 年史	精神医学	1,000,000	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
137	BPSDの症状評価法および治療法の開発と脳内基盤解明を目指した総合的研究	安野 史彦	精神医学	800,000	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
138	難治性めまい疾患の診療の質を高める研究	北原 礼	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	350,000	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
139	拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	斎藤 能彦	第一内科学	300,000	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
140	遺伝性心血管疾患における集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究	斎藤 能彦	第一内科学	1,200,000	補委託 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

番号	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
141	日本人糖尿病の合併症重症度評価パネルの確立と重症化予防の為に効果的医療連携体制の構築	斎藤 能彦	第一内科学	200,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
142	日本人糖尿病の合併症重症度評価パネルの確立と重症化予防の為に効果的医療連携体制の構築	緒方 奈保子	眼科学	200,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
143	重症薬疹における特異的細胞死誘導受容体をターゲットにした新規治療薬開発	小豆澤 宏明	皮膚科学(～6/30 阪大在)	1,300,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
144	官民共同による重篤副作用バイオマーカー開発	浅田 秀夫	皮膚科学	3,406,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
145	子宮内膜症の病態解明、および予防・治療法の開発	小林 浩	産婦人科学	5,500,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
146	脳卒中を含む循環器病の診療情報の収集のためのシステムの開発に関する研究	斎藤 能彦	第一内科学	520,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
147	脳卒中を含む循環器病対策の評価指標の開発に関する研究	斎藤 能彦	第一内科学	520,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
148	視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性を検証する第Ⅱ/Ⅲ相 多施設共同プラセボ対照無作為化試験	桐山 敬生	神経内科学	1,500,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
149	治験の実施に関する研究[エプレレノン]	斎藤 能彦	第一内科学	1,040,000	補 委 公益社団法人 日本医師会 治験促進センター
150	治験の実施に関する研究[5ALA・SFC]	榊原 崇文	小児科学	800,000	補 委 公益社団法人 日本医師会 治験促進センター
151	耳石器(重力センサ)が原因のめまいを診断する平衡機能検査装置の開発	和田 佳郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,820,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
152	糖尿病患者における心血管疾患予防の最適化に関する研究(24-4-1)	斎藤 能彦	第一内科学	500,000	補 委 独立行政法人 国立循環器病研究センター
153	本邦におけるHfPpPの実態に関する多施設共同調査研究(24-4-2)	斎藤 能彦	第一内科学	250,000	補 委 独立行政法人 国立循環器病研究センター
154	心血管リスクに伴う認知症発症機序の解明とその解決(25-4-5)	安野 史彦	精神医学	120,000	補 委 独立行政法人 国立循環器病研究センター
155	循環器疾患診療実態調査(JROAD)におけるJROAD-DPCと臨床データのValidationに関する研究(27-4-7)	斎藤 能彦	第一内科学	700,000	補 委 独立行政法人 国立循環器病研究センター
156	新構造の振動子を用いた世界初の軟骨伝導による補聴器の開発	西村 忠己	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	733,245	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
157	胸部大動脈手術に対応するレーザースペックル法に基づく眼底血流測定装置の開発	林 浩伸	麻酔科学	500,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
158	耳石器(重力センサ)が原因のめまいを診断する平衡機能検査装置の開発	和田 佳郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,820,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
159	循環器疾患患者を在宅ヘルスケア・システムの研究開発	小林 浩	産婦人科学	151,489	補 委 総務省
160	膝回旋不安定性の非侵襲的かつ簡便な定量化技術の開発	小川 宗宏	整形外科	1,694,651	補 委 経済産業省
161	インフルエンザマイクロニードル(HAMN)ワクチンの臨床研究	浅田 秀夫	皮膚科学	770,255	補 委 経済産業省
162	伊賀・奥宇陀地域脳神経疾患医療体制整備に関する調査	中瀬 裕之	脳神経外科学	4,000,000	補 委 三重県名張市
163	高齢者めまいに対するリハビリ治療に関する基礎研究	伊藤 妙子	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,000,000	補 委 (公財)大阪難病研究財団
164	近赤外線を用いた鉄測定により子宮内膜症の悪性を早期に予測する新規検査法の確立	吉元 千陽	産婦人科	200,000	補 委 (公財)武田科学振興財団
165	Nonalcoholic fatty liver disease (NAFLD) 肝癌に対する術前短期ダイエット治療効果に関する施設共同研究	野見 武男	消化器・総合外科学	1,000,000	補 委 (公財)三井生命厚生財団
166	社会的経験の剥夺により障害される前頭前野機能の分子基盤の解明	紀本 創兵	精神医学	2,000,000	補 委 (公財)武田科学振興財団
167	脳梗塞後の神経回路再編メカニズムの解明と治療への応用	高橋 弘雄	脳神経システム医学	1,000,000	補 委 (公財)万有生命科学振興国際交流財団
168	ナノコーティング技術を応用した人工靭帯の骨親和性向上の研究	稲垣 有佐	整形外科	1,000,000	補 委 (公財)鈴木謙三記念医学応用研究財団
169	肝内胆管癌に対する、術前審査顕微鏡を用いたICG蛍光法による至適リンパ節摘出法の開発	野見 武男	消化器・総合外科学	500,000	補 委 (公財)内視鏡医学研究振興財団
170	MRスペクトロスコピーによるチョコレート嚢胞嚢化の早期診断法	吉元 千陽	産婦人科	1,500,000	補 委 (公財)神澤医学研究振興財団
171	術中皮質脳波におけるセボフルラン濃度切替・高周波振動はてんかん焦点を推定可能か	田村 健太郎	脳神経外科学	1,600,000	補 委 公益財団法人 てんかん治療研究振興財団

小計 31  
計 171

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Nishimura N Kitade M Noguchi R Namisaki T Moriya K Takeda K Okura Y Aihara Y Douhara A Kawaratani H Asada K Yoshiji H	Third Department of Internal Medicine, Nara Medical University	Ipragliflozin, a sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor, ameliorates the development of liver fibrosis in diabetic Otsuka Long-Evans Tokushima fatty rats.	Journal of gastroenterology. 2016
2	Miyamae R(1) Nishimura T(1) Hosoi H(2) Saito O(1) Shimokura R(3) Yamanaka T(1) Kitahara T(1)	(1)Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Nara Medical University (2)President's Office, Nara Medical University (3)Department of Area of Architecture and Production Design Engineering, Interdisciplinary Graduate School of Science & Engineering, Shimane University	Perception of speech in cartilage conduction.	Auris, nasus, larynx. 2016
3	Omoto K Motoyama Y Shida Y Nakagawa I Park YS Nakase H	Department of Neurosurgery, Nara Medical University	Effectiveness of Intraoperative Indocyanine Green Videoangiography in Avoiding Failure in Proximal Clipping for Dissecting Vertebral Artery Aneurysm Associated with Double Origin of the Posterior Inferior Cerebellar Artery.	World neurosurgery. 90, 708.e1-4, 2016
4	Kitahara T Yamanaka T	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Nara Medical University	Identification of operculum and surgical results in endolymphatic sac drainage surgery.	Auris, nasus, larynx. 2016
5	Nomi T(1)(2) Fuks D(1) Louvet C(3) Nakajima Y(2) Gayet B(1)	(1)Department of Digestive Disease, Institut Mutualiste Montsouris, Université Paris-Descartes (2)Department of Surgery, Nara Medical University (3)Department of Oncology, Institut Mutualiste Montsouris	Outcomes of Laparoscopic Liver Resection for Patients with Large Colorectal Liver Metastases: A Case-Matched Analysis.	World journal of surgery. 40(7), 1702-8, 2016
6	Yokota H(1)(2) Yokoyama K(1) Nakase H(2)	(1)Department of Neurosurgery, Higashiosaka City General Hospital (2)Department of Neurosurgery, Nara Medical University	Spontaneous intracranial hypotension with pseudo-subarachnoid hemorrhage.	Acta neurologica Belgica. 2016
7	Sakagami M Kitahara T Okayasu T Yamashita A Hasukawa A Ota I Yamanaka T	Department of Otolaryngology - Head and Neck Surgery, Nara Medical University	Negative prognostic factors for psychological conditions in patients with audiovestibular diseases.	Auris, nasus, larynx. 2016
8	Morizawa Y(1) Miyake M(1) Shimada K(2) Hori S(1) Tatsumi Y(1)(2) Nakai Y(1) Anai S(1) Tanaka N(1) Konishi N(2) Fujimoto K(1)	(1)Department of Urology, Nara Medical University (2)Department of Pathology, Nara Medical University	Extended resection including adjacent organs and Ki-67 labeling index are prognostic factors in patients with retroperitoneal soft tissue sarcomas.	World journal of surgical oncology. 14(1), 43, 2016
9	(1)Department of Radiology, Nara Medical University (2)Technology Development Department, Omron Healthcare	Hashimoto T(1)(2) Ichihashi S(1) Iwakoshi S(1) Kichikawa K(1)	Combination of pulse volume recording (PVR) parameters and ankle-brachial index (ABI) improves diagnostic accuracy for peripheral arterial disease compared with ABI alone.	Hypertension research. 39(6), 430-4, 2016
10	Kobayashi H	Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University	Characterization of the down-regulated genes identified in preeclampsia placenta.	Hypertension in pregnancy. 35(1), 15-21, 2016
11	Inagaki Y(1)(2) Hookway ES(1) Kashima TG(1) Munemoto M(1)(2) Tanaka Y(2) Hassan AB(1) Oppermann U(1) Athanasou NA(1)	(1)Nuffield Department of Orthopaedics, Rheumatology and Musculoskeletal Sciences, University of Oxford, Nuffield Orthopaedic Centre (2)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University	Sclerostin expression in bone tumours and tumour-like lesions.	Histopathology. 69(3), 470-8, 2016
12	Kitade M Kaji K Yoshiji H	Third Department of Internal Medicine, Nara Medical University	The relationship between hepatic progenitor cell-mediated liver regeneration and non-parenchymal cells.	Hepatology research. 2016

小計

12

13	Mashitani T(1)(X2) Noguchi R(1) Okura Y(1) Narisaki T(1) Mitsuo A(1) Ishii H(2) Nakatani T(3) Kawachi E(3) Moriyama K(4) Matsumoto M(4) Sato S(5) An T(5) Morita H(6) Aizawa S(7) Tokuoka Y(8) Ishikawa M(9) Matsumura Y(9) Ohira H(10) Kogura A(11) Hoguchi K(11) Yoshiji K(1)	(1)Third Department of Internal Medicine, Nara Medical University (2)Department of Diabetology, Nara Medical University (3)Department of Gastroenterology, Nara Prefecture General Medical Center (4)Department of Gastroenterology, Nara Prefectural Gojo Hospital (5)Department of Gastroenterology, Belland General Hospital (6)Department of Internal Medicine, Takamiya Hospital (7)Department of Gastroenterology, Nara Prefecture Western Medical Center (8)Department of Internal Medicine, Kokuho Chuo Hospital (9)Department of Gastroenterology, Ishinkai Yao General Hospital (10)Department of Gastroenterology and Rheumatology, School of Medicine, Fukushima Medical University (11)Department of Gastroenterology, Fujita General Hospital	Efficacy of alogliptin in preventing non-alcoholic fatty liver disease progression in patients with type 2 diabetes.	Biomedical reports. 4(2), 183-187, 2016
14	Iwata E(1) Shigematsu H(1) Koizumi M(2) Nakajima H(3) Okuda A(1) Morimoto Y(1) Masuda K(1) Yamamoto Y(3) Tanaka Y(1)	(1)Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Spine and Spinal Cord Surgery Center, Nara Prefecture General Medical Center (3)Department of Orthopedic Surgery, Otemae Hospital	Lymphocyte Count at 4 Days Postoperatively and CRP Level at 7 Days Postoperatively: Reliable and Useful Markers for Surgical Site Infection Following Instrumented Spinal Fusion.	Spine. 41(14), 1173-8, 2016
15	Kumamoto M(1) Tomoda K(1) Furuya Y(2) Iwasa N(2) Ueno S(2) Yoshikawa M(1) Kimura H(1)	(1)Second Department of Internal Medicine, Nara Medical University (2)Department of Neurology, Nara Medical University	Hypertrophic Pachymeningitis as a Delayed Complication of Granulomatosis with Polyangiitis.	Internal medicine (Tokyo, Japan). 55(4), 413-7, 2016
16	Okura H(1) Kataoka T(2) Yoshida K(3)	(1)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University (2)Division of Cardiology, Bell Land General Hospital (3)Division of Cardiology, The Sakakibara Heart Institute of Okayama	Renin-angiotensin system inhibitors in patients with myocardial infarction and secondary mitral regurgitation.	Heart. 102(9), 694-700, 2016
17	Motoyama Y(1) Tanaka Y(1) Gurung P(2) Nakagawa I(1) Park YS(1) Nakase H(1)	(1)Department of Neurosurgery, Nara Medical University (2)Ohnishi Neurological Center	A simple bracing technique to correct kinking of arterial branches to avoid ischemic sequelae during neurovascular surgery.	Surgical neurology international. 7, 8, 2016
18	Miyake M(1) Kuwada M(1) Hori S(1) Morizawa Y(1) Tatsumi Y(1)(X2) Anai S(1) Hosokawa Y(3) Hayashi Y(3) Tomioaka A(4) Otani T(4) Otsuka K(5) Nakagawa Y(5) Nakai Y(1)(X6) Sannma S(6) Tanaka N(1) Fujimoto K(1)	(1)Department of Urology, Nara Medical University (2)Department of Pathology, Nara Medical University (3)Department of Urology, Tane General Hospital (4)Department of Urology, Matsuzaka Chuo General Hospital (5)Department of Urology, Yamato Takada Municipal Hospital (6)Department of Urology, Nara Prefecture General Medical Center	The best objective response of target lesions and the incidence of treatment-related hypertension are associated with the survival of patients with metastatic renal cell carcinoma treated with sunitinib: a Japanese retrospective study.	BMC research notes. 9, 79, 2016
19	Kawaguchi T Tojo T Kawai N Watanabe T Yasukawa M Taniguchi S	Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Nara Medical University School of Medicine	A new minimally invasive technique of combined chest wall resection for lung cancer.	Surgery today. 2016
20	Akahori T(1) Sho M(1) Tanaka T(2) Kinoshita S(1) Nagai M(1) Nishiwada S(1) Nishiokubo H(2) Ohbayashi C(3) Kichikawa K(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara Medical University (3)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University	Factors associated with failure to complete adjuvant chemotherapy in pancreatic cancer.	American journal of surgery. 211(4), 787-92, 2016
21	Mizuno R(1) Fujimoto S(2) Saito Y(3) Yamazaki M(1)	(1)Central Clinical Laboratory, Nara Medical University (2)Center for Education Development, Nara Medical University (3)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University	Clinical importance of detecting exaggerated blood pressure response to exercise on antihypertensive therapy.	Heart. 102(11), 849-54, 2016
22	Ogawa Y(1) Koizumi A(2) Kashihara K(1) Lee ST(2) Yamada Y(3) Nakano R(4) Yano H(4) Mikasa K(1)	(1)Center for Infectious Diseases, Nara Medical University (2)Central Clinical Laboratory, Nara Medical University (3)Department of Gynecology, Nara Medical University (4)Department of Microbiology and Infectious Diseases, Nara Medical University	Bacteremia secondary to Alloscardovia omnicoles urinary tract infection.	Journal of infection and chemotherapy. 22(6), 424-5, 2016

小計

10

23	Tsuji N(1)(2) Tsuda E(1) Asaumi Y(3) Yamada O(1)	(1)Department of Pediatric Cardiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (2)Department of Pediatrics, Nara Medical University (3)Department of Internal Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center	Usefulness of Percutaneous Transluminal Coronary Balloon Angioplasty for the Left Coronary Artery Stenosis 10 Years More Than After Arterial Switch Operation.	Pediatric cardiology. 37(4), 751–5, 2016
24	Okada S(1)(2) Morimoto T(3) Ogawa H(4) Sakuma M(3) Soejima H(4) Nakayama M(4) Jinnouchi H(5) Waki M(6) Akai Y(1) Ishii H(1) Saito Y(2)(7) Investigators for the Japanese Primary Prevention of Atherosclerosis with Aspirin for Diabetes trial	(1)Department of Diabetology, Nara Medical University (2)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University (3)Department of Clinical Epidemiology, Hyogo College of Medicine (4)Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Science, Kumamoto University (5)Diabetes Care Center, Jinnouchi Hospital (6)Division of Endocrinology and Metabolism, Department of Internal Medicine, Shizuoka City Hospital (7)Department of Regulatory Medicine of Blood Pressure, Nara Medical University	Is Long-Term Low-Dose Aspirin Therapy Associated with Renal Dysfunction in Patients with Type 2 Diabetes? JPAD2 Cohort Study.	PLoS one. 11(1), e0147635, 2016
25	Ota M(1)(2) Mochizuki S(1) Shimoda M(1) Abe H(1) Miyamae Y(1) Ishii K(3) Kimura H(2) Okada Y(1)(4)	(1)Department of Pathology, Keio University School of Medicine (2)Second Department of Internal Medicine and Respiratory Medicine, Nara Medical University (3)Department of Orthopedic Surgery, Keio University School of Medicine (4)Department of Pathophysiology for Locomotive and Neoplastic Diseases, Juntendo University Graduate School of Medicine	ADAM23 is downregulated in side population and suppresses lung metastasis of lung carcinoma cells.	Cancer science. 107(4), 433–43, 2016
26	Yasuno F(1)(2) Kazui H(3) Morita N(4) Kajimoto K(5) Ihara M(5) Taguchi A(5)(6) Yamamoto A(2) Matsuoka K(1) Kosaka J(1) Kudo T(7) Iida H(2) Kishimoto T(1) Nagatsuka K(5)	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University (2)Department of Investigative Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (3)Department of Neuropsychiatry, Osaka University Medical School (4)Department of Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (5)Department of Neurology, National Cerebral and Cardiovascular Center (6)Department of Regenerative Medicine Research, Institute of Biomedical Research and Innovation (7)Department of Psychiatry, Osaka University Health Care Center	High amyloid-beta deposition related to depressive symptoms in older individuals with normal cognition: a pilot study.	International journal of geriatric psychiatry. 31(8), 920–8, 2016
27	Sho M(1) Murakami Y(2) Kawai M(3) Motoi F(4) Sato S(5) Maksumoto K(6) Honda G(7) Uemura K(2) Yanagimoto H(5) Kurata M(7) Akahori T(1) Kinoshita S(1) Nagai M(1) Nishiwada S(1) Fukumoto T(8) Ueno M(4) Yamase H(3) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Surgery, Institute of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University (3)Second Department of Surgery, Wakayama Medical University (4)Division of Gastroenterological Surgery, Department of Surgery, Tohoku University (5)Department of Surgery, Kansai Medical University (6)Division of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Department of Surgery, Kinki University Faculty of Medicine (7)Department of Surgery, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital (8)Division of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Department of Surgery, Kobe University Graduate School of Medicine	Prognosis after surgical treatment for pancreatic cancer in patients aged 80 years or older: a multicenter study.	Journal of hepatobiliary-pancreatic sciences. 23(3), 188–97, 2016
28	Hashimoto A(1)(2) Tanaka T(1) Sho M(3) Nishiokubo H(1) Masada T(1) Sato T(1) Marugami N(1) Anai H(2) Sakaguchi H(4) Kanno M(5) Tamamoto T(6) Hasegawa M(6) Nakajima Y(3) Kichikawa K(1)	(1)Department of Radiology, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara City Hospital (3)Department of Surgery, Nara Medical University (4)Department of Radiology, Nara Prefectural Western Medical Center (5)Oncology Center, Nara Medical University (6)Department of Radiation Oncology, Nara Medical University	Adjuvant Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy After Resection for Pancreatic Cancer Using Coaxial Catheter-Port System Compared with Conventional System.	Cardiovascular and interventional radiology. 39(6), 831–9, 2016
29	Munemoto M(1)(2) Kido A(1) Sakamoto Y(1) Inoue K(1) Yokoi K(2) Shinohara Y(2) Tanaka Y(1)	(1)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Orthopaedic Surgery, Okanami General Hospital	Analysis of trabecular bone microstructure in osteoporotic femoral heads in human patients: in vivo study using multidetector row computed tomography.	BMC musculoskeletal disorders. 17, 13, 2016
30	Nakada Y Kawakami R Nakano T Takitsume A Nakagawa H Ueda T Nishida T Onoue K Soeda T Okayama S Takeda Y Watanabe M Kawata H Okura H Saito Y	First Department of Internal Medicine, Nara Medical University	Sex differences in clinical characteristics and long-term outcome in acute decompensated heart failure patients with preserved and reduced ejection fraction.	American journal of physiology. Heart and circulatory physiology. 310(7), H813–20, 2016

小計

31	Tsukamoto S(1) Kurematsu Y(2) Honoki K(3) Kido A(3) Somekawa S(4) Kaya D(2) Sadamitsu T(2) Fukui H(2) Tanaka Y(3)	(1)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University(2)Department of Gastroenterology, Endocrinology and Metabolism, Nara Medical University (3)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University(4)Department of Cardioresnal and Metabolic Medicine, Nara Medical University	Severe toxicity of chemotherapy against advanced soft tissue sarcoma in Werner's syndrome: ifosfamide-induced encephalopathy with central diabetes insipidus.	Journal of orthopaedic science. 21(3), 403-6, 2016
32	Watanabe M(1) Seito Y(1) Aonuma K(2) Hirayama A(3) Tamaki N(4) Tsutsui H(5) Murohara T(6) Ogawa H(7) Akasaka T(8) Yoshinura M(9) Sato A(2) Takayama T(3) Sakakibara M(5) Suzuki S(8) Ishigami K(10) Onoue K(1) CINC-J study investigators	(1)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University(2)Cardiovascular Division, Faculty of Medicine, University of Tsukuba (3)Division of Cardiology, Department of Medicine, Nihon University School of Medicine (4)Department of Nuclear Medicine, Hokkaido University Graduate School of Medicine (5)Department of Cardiovascular Medicine, Hokkaido University Graduate School of Medicine (6)Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine (7)Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Science, Kumamoto University (8)Department of Cardiovascular Medicine, Wakayama Medical University (9)Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Jikei University School of Medicine (10)Department of Cardiology, Saiseikai-Suita Hospital	Prediction of contrast-induced nephropathy by the serum creatinine level on the day following cardiac catheterization.	Journal of cardiology. 2015
33	Okura H	First Department of Internal Medicine, Nara Medical University	Echocardiographic assessment of takotsubo cardiomyopathy: beyond apical ballooning.	Journal of echocardiography. 14(1), 13-20, 2016
34	Kataoka H(1) Okada Y(2) Kiriyaama T(1) Kita Y(2) Nakamura J(2) Morioka S(2) Shomoto K(2) Ueno S(1)	(1)Department of Neurology, Nara Medical University (2)Graduate School of Health Science, Kio University	Can Postural Instability Respond to Galvanic Vestibular Stimulation in Patients with Parkinson's Disease?	Journal of movement disorders. 9(1), 40-3, 2016
35	Kai Y(1)(2) Tomoda K(1) Yoneyama H(3) Yoshikawa M(1) Kimura H(1)	(1)Second Department of Internal Medicine, Nara Medical University (2)Department of Internal Medicine, Yoshino-cho National Health Insurance Yoshino Hospital (3)Stelic Institute & Co., Inc.	RNA interference targeting carbohydrate sulfotransferase 3 diminishes macrophage accumulation, inhibits MMP-9 expression and promotes lung recovery in murine pulmonary emphysema.	Respiratory research. 16, 146, 2015
36	Kobayashi H Sugimoto H Onishi S Nakano K	Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University	Novel biomarker candidates for the diagnosis of ovarian clear cell carcinoma.	Oncology letters. 10(2), 612-618, 2015
37	Kobayashi H Shigetomi H Yoshimoto C	Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University	Checkpoint kinase 1 inhibitors as targeted molecular agents for clear cell carcinoma of the ovary.	Oncology letters. 10(2), 571-576, 2015
38	Shimizu T(1) Omokawa S(1)(2) del Píñal F(3) Shigematsu K(4) Moritomo H(5) Tanaka Y(1)	(1)Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Hand Surgery, Nara Medical University (3)Instituto de Cirugía Plástica y de la Mano, Private Practice and Hospital Mutua Montañesa (4)Department of Orthopaedic Surgery, Higashiosaka City General Hospital (5)Department of Orthopedic Surgery, Yukioka Hospital Hand Center, Osaka Yukioka College of Health Science	Arthroscopic Partial Capitate Resection for Type Ia Avascular Necrosis: A Short-Term Outcome Analysis.	The Journal of hand surgery. 40(12), 2393-400, 2015
39	Ito F(1) Furukawa N(2) Nakai T(3)	(1)Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University (2)Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Prefecture Western Medical Center (3)Department of Pathology, Nara Medical University	Evaluation of TOP2A as a Predictive Marker for Endometrial Cancer With Taxane-Containing Adjuvant Chemotherapy.	International journal of gynecological cancer. 26(2), 325-30, 2016
40	Hokuto D Nomi T Yamato I Yasuda S Obara S Nakajima Y	Department of Surgery, Nara Medical University	Impact of Mechanical Bowel Preparation on Postoperative Outcomes after Liver Resection for Patients with Hepatocellular Carcinoma: A Single-Center Retrospective Cohort Study.	Digestive surgery. 33(1), 51-7, 2016
41	Tanaka N(1) Shimada K(2) Nakagawa Y(3) Hirao S(3) Watanabe S(3) Miyake M(1) Anai S(1) Hirayama A(3)(4) Konishi N(2) Fujimoto K(1)	(1)Department of Urology, Nara Medical University (2)Department of Pathology, Nara Medical University (3)Nara Urological Research and Treatment Group (4)Department of Urology, Nara Hospital Kinki University Faculty of Medicine	The optimal number of initial prostate biopsy cores in daily practice: a prospective study using the Nara Urological Research and Treatment Group nomogram.	BMC research notes. 8, 689, 2015

小計



42	Nishigori N(1) Matsumoto M(2) Koyama F(1) Hayakawa M(2) Hatakeyama K(3) Ko S(1) Fujimura Y(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Blood Transfusion Medicine (3)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University	von Willebrand Factor-Rich Platelet Thrombi in the Liver Cause Sinusoidal Obstruction Syndrome following Oxaliplatin-Based Chemotherapy.	PLoS one. 10(11), e0143136, 2015
43	Fujita M(1)(2) Sakabe M(1)(2) Ioka T(1)(2) Watanabe Y(2) Kinugasa-Katayama Y(1)(2) Tsuchihashi T(3) Utset MF(4) Yamagishi H(3) Nakagawa O(1)(2)	(1)Laboratory for Cardiovascular System Research, Nara Medical University Advanced Medical Research Center (2)Department of Molecular Physiology, National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute (3)Division of Pediatric Cardiology, Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine (4)Department of Pathology, The University of Illinois at Chicago	Pharyngeal arch artery defects and lethal malformations of the aortic arch and its branches in mice deficient for the Hrt1/Hey1 transcription factor.	Mechanisms of development. 139, 65-73, 2016
44	Yamamoto K Matsusue Y Horita S Murakami K Sugiura T Kirita T	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nara Medical University	Trend and Characteristics of 2,636 Maxillofacial Fracture Cases over 32 Years in Suburban City of Japan.	Craniomaxillofacial trauma & reconstruction. 8(4), 281-8, 2015
45	Hori S(1) Taoka T(2) Miyasaka T(1) Ochi T(1) Sakamoto M(1) Wada T(1) Myochin K(1) Takayama K(1) Kichikawa K(1)	(1)Department of Radiology, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nagoya University	Dural Thickening of the Internal Auditory Canal in Patients With Spontaneous Intracranial Hypotension Syndrome.	Journal of computer assisted tomography. 40(2), 297-300, 2016
46	Yokota Y Kitahara T Sakagami M Ito T Kimura T Okayasu T Yamashita A Yamanaka T	Department of Otolaryngology – Head and Neck Surgery, Nara Medical University	Surgical results and psychological status in patients with intractable Meniere's disease.	Auris, nasus, larynx. 43(3), 287-91, 2016
47	Hojo J Omokawa S Shigematsu K Onishi T Murata K Tanaka Y	Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical University	Patient-based outcomes following surgical debridement and flap coverage of digital mucous cysts.	Journal of plastic surgery and hand surgery. 50(2), 111-4, 2016
48	Fujitaka K(1) Taniguchi A(2) Isomoto S(3) Kumai T(4) Otuki S(5) Okubo M(6) Tanaka Y(2)	(1)Nara Medical University, Graduate School (2)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University (3)Nara Prefecture General Medical Center (4)Department of Sports Medicine, Nara Medical University (5)Osaka Sangyo University (6)Department of Orthopaedic Surgery, Kishima Hon-in Hospital	Pathogenesis of Fifth Metatarsal Fractures in College Soccer Players.	Orthopaedic journal of sports medicine. 3(9), 2325967115603654, 2015
49	Hashimoto K Makinodan M Matsuda Y Morimoto T Ueda S Kishimoto T	Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, Nara Medical University	Smoking bans in mental health hospitals in Japan: barriers to implementation.	Annals of general psychiatry. 14, 35, 2015
50	Tsuji N(1)(2) Tsuda E(1) Kanzaki S(3) Kurosaki K(1)	(1)Department of Pediatric Cardiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (2)Department of Pediatrics, Nara Medical University (3)Department of Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center	Measurements of Coronary Artery Aneurysms Due to Kawasaki Disease by Dual-Source Computed Tomography (DSCT).	Pediatric cardiology. 37(3), 442-7, 2016
51	Ota I(1) Masui T(1) Kurihara M(2) Yook JK(3) Mikami S(1) Kimura T(1) Shimada K(4) Konishi N(4) Yane K(5) Yamanaka T(1) Kitahara T(1)	(1)Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Nara Medical University (2)Department of Molecular Pathology, Nara Medical University (3)Department of Oral Pathology, Oral Cancer Research Institute, College of Dentistry, Yonsei University (4)Department of Pathology, Nara Medical University (5)Department of Otolaryngology, Kinki University School of Medicine	Snail-induced EMT promotes cancer stem cell-like properties in head and neck cancer cells.	Oncology reports. 35(1), 261-6, 2016

52	Nakagawa K(1) Park HS(1) Yokoyama S(1) Wada T(2) Hironaka Y(1) Motoyama Y(1) Takayama K(2) Kichikawa K(2) Nakase H(1)	(1)Department of Neurosurgery, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara Medical University	Influence of Diabetes Mellitus and Cigarette Smoking on Variability of the Clopidogrel-Induced Antiplatelet Effect and Efficacy of Active Management of the Target P2Y12 Reaction Unit Range in Patients Undergoing Neurointerventional Procedures.	Journal of stroke and cerebrovascular diseases. 25(1), 163-71, 2016
53	Inoue T(1) Fuji H(2) Koyama F(1)(2) Nakamura S(1) Ueda T(1) Nishigori N(1) Kawasaki K(1) Obara S(1) Nakamoto T(1) Uchimoto K(2) Morita K(3) Nishikawa T(3) Ohbayashi C(3) Nakajima Y(1)	(1)Departments of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Endoscopy and Ultrasound, Nara Medical University (3)Department of Pathology, Nara Medical University	Intraluminal lavage to remove exfoliated tumor cells after colorectal endoscopic submucosal dissection.	Surgical endoscopy. 30(7), 2773-8, 2016
54	Okamoto M Matsuura T Ogata N	Department of Ophthalmology, Nara Medical University	EFFECTS OF PANRETINAL PHOTOCOAGULATION ON CHOROIDAL THICKNESS AND CHOROIDAL BLOOD FLOW IN PATIENTS WITH SEVERE NONPROLIFERATIVE DIABETIC RETINOPATHY.	Retina. 36(4), 805-11, 2016
55	Hanuta S(1) Kawaguchi R(1) Hirai T(2) Kobayashi H(1)	(1)Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University (2)Department of Endoscopy and Ultrasound, Nara Medical University	Sequential screening to predict symptomatic pulmonary thromboembolism after gynecologic surgery in Nara, Japan.	International journal of gynaecology and obstetrics. 132(1), 42-5, 2016
56	Kimoto S(1)(2) Glausier JR(2) Fish KN(2) Volk DW(2) Bazmi HH(2) Arion D(2) Datta D(2) Lewis DA(3)	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University (2)Department of Psychiatry, University of Pittsburgh (3)Department of Psychiatry, University of Pittsburgh; Department of Neuroscience, University of Pittsburgh	Reciprocal Alterations in Regulator of G Protein Signaling 4 and microRNA16 in Schizophrenia.	Schizophrenia bulletin. 42(2), 396-405, 2016
57	Miyata K(1) Obayashi K(2) Saeki K(2) Tone N(3) Tanaka K(4) Nishi T(1) Morikawa M(5)(6) Kurumatani N(2) Ogata N(1)	(1)Department of Ophthalmology, Nara Medical University School of Medicine (2)Department of Community Health and Epidemiology, Nara Medical University School of Medicine (3)Center for Academic Industrial and Governmental Relations, Nara Medical University School of Medicine (4)Osaka City University, Graduate School of Medicine (5)Mie Prefectural Mental Care Center (6)Department of Psychiatry, Nara Medical University School of Medicine	Higher Cognitive Function in Elderly Individuals with Previous Cataract Surgery: Cross-Sectional Association Independent of Visual Acuity in the HEIJO-KYO Cohort.	Rejuvenation research. 19(3), 239-43, 2016
58	Yamamuro K(1) Ota T(1) Nakanishi Y(1) Matsuura H(2) Okazaki K(1) Kishimoto N(1) Takahashi H(3) Iwasaka H(4) Iida J(5) Kishimoto T(1)	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University School of Medicine (2)Department of Psychiatry, Tenri Hospital (3)Department of Psychiatry, Akithukounoike Hospital (4)Department of Education, Nara University of Education (5)Faculty of Nursing, Nara Medical University School of Medicine	Event-related potentials in drug-naive pediatric patients with obsessive-compulsive disorder.	Psychiatry research. 230(2), 394-9, 2015
59	Yamashita K(1) Suzuki S(2)(3) Tabayashi N(1) Abe T(1) Hayata Y(1) Hirose T(1) Hiraga S(1) Niwa K(1) Fukuba R(1) Takeda M(4) Ikada Y(2)(5) Taniguchi S(1)	(1)Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, School of Medicine, Nara Medical University (2)Biomedical Engineering, School of Medicine, Nara Medical University (3)Queensland Eye Institute (4)Diagnostic Pathology, School of Medicine, Nara Medical University (5)Kyoto University	Experimental use of crosslinked gelatin glue for arterial hemostasis in cardiovascular surgery.	Bio-medical materials and engineering. 25(4), 361-70, 2015
60	Yamamoto K Matsue Y Horita S Murakami K Sugiura T Kirita T	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nara Medical University	Routine removal of the plate after surgical treatment for mandibular angle fracture with a third molar in relation to the fracture line.	Annals of maxillofacial surgery. 5(1), 77-81, 2015

小計

61	Nishiofuku H(1) Tanaka T(1) Marugami N(2) Sho M(3) Akahori T(3) Nakajima Y(3) Kichikawa K(1)	(1)Department of Radiology and IVR Center, Nara Medical University (2)Department of Endoscopy and Ultrasound, Nara Medical University (3)Department of Surgery, Nara Medical University	Increased tumour ADC value during chemotherapy predicts improved survival in unresectable pancreatic cancer.	European radiology. 26(6), 1835-42, 2016
62	Fukushima H(1) Imanishi M(2) Iwami T(3) Kitaoka H(1) Asai H(1) Seki T(1) Kawai Y(1) Norimoto K(1) Urisono Y(1) Nishio K(4) Okuchi K(1)	(1)Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nara Medical University (2)Nara Saiseikai Gose Hospital (3)Kyoto University Health Service (4)Department of General Medicine, Nara Medical University	Implementation of a dispatch-instruction protocol for cardiopulmonary resuscitation according to various abnormal breathing patterns: a population-based study.	Scandinavian journal of trauma, resuscitation and emergency medicine. 23, 64, 2015
63	Kataoka H Sawa N Ueno S	Department of Neurology, Nara Medical University	Identification of a new target muscle for treatment in patients with Parkinson's disease who have lateral trunk flexion?	Journal of the neurological sciences. 358(1-2), 435-9, 2015
64	Matsui M(1) Samejima K(1) Takeda Y(1) Tanabe K(1) Morimoto K(1) Okamoto K(1) Tagawa M(1) Onoue K(1) Okayama S(1) Kawata H(1) Kawakami R(1) Akai Y(1) Saito Y(1X2)	(1)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University (2)Department of Regulatory Medicine for Blood Pressure, Nara Medical University	Prognostic Impact of Placental Growth Factor on Mortality and Cardiovascular Events in Dialysis Patients.	American journal of nephrology. 42(2), 117-25, 2015
65	Iwakoshi S(1) Ichihashi S(1) Itoh H(1) Tabayashi N(2) Sakaguchi S(3) Yoshida T(4) Nakao Y(5) Kichikawa K(1)	(1)Department of Radiology, Nara Medical University (2)Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Nara Medical University (3)Department of Radiology, Matsubara Tokusyukai Hospital (4)Department of Cardiovascular Surgery, Matsubara Tokusyukai Hospital (5)Department of Cardiovascular Surgery, Yao Tokusyukai Hospital	Clinical outcomes of thoracic endovascular aneurysm repair using commercially available fenestrated stent graft (Najuta endograft).	Journal of vascular surgery. 62(6), 1473-8, 2015
66	Kawaguchi C(1) Sho M(1) Tanaka T(2) Akahori T(1) Kinoshita S(1) Nagai M(1) Yasuda S(1) Nishiwada S(1) Nishiofuku H(2) Kichikawa K(2) Nakajima Y(1)	(1)Departments of Surgery, Nara Medical University (2)Departments of Radiology, Nara Medical University	Impact of Smoking on Pancreatic Cancer Patients Receiving Current Chemotherapy.	Pancreas. 44(7), 1155-60, 2015
67	Nagai M(1) Sho M(1) Akahori T(1) Tanaka T(2) Kinoshita S(1) Nishiofuku H(2) Nishiwada S(1) Ohbayashi C(3) Kichikawa K(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara Medical University (3)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University	Impact of preoperative asymptomatic renal dysfunction on clinical course after pancreatoduodenectomy.	Journal of hepatobiliary-pancreatic sciences. 22(11), 810-8, 2015
68	Migita K Takayama T Matsumoto S Wakatsuki K Tanaka T Ito M Kunishige T Nakade H Nakajima Y	Department of Surgery, Nara Medical University	Impact of being underweight on the long-term outcomes of patients with gastric cancer.	Gastric cancer. 19(3), 735-43, 2016

小計

69	Akahori T(1) Sho M(1) Kinoshita S(1) Nagai M(1) Nishiwada S(1) Tanaka T(2) Tamamoto T(3) Ohbayashi C(4) Hasegawa M(3) Kichikawa K(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara Medical University (3)Department of Radiation Oncology, Nara Medical University (4)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University	Prognostic Significance of Muscle Attenuation in Pancreatic Cancer Patients Treated with Neoadjuvant Chemoradiotherapy.	World journal of surgery. 39(12), 2975-82, 2015
70	Taniguchi A(1) Takakura Y(2) Tanaka Y(1) Kurokawa H(1) Tomiwa K(1) Matsuda T(1) Kumai T(1) Sugimoto K(3)	(1)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Orthopaedic Surgery, Nishi Nara Central Hospital (3)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Prefecture General Medical Center	An Alumina Ceramic Total Talar Prosthesis for Osteonecrosis of the Talus.	The Journal of bone and joint surgery. American volume. 97(16), 1348-53, 2015
71	Itoh T(1) Saito M(2) Marugami N(2) Hirai T(2) Marugami A(1) Takahama J(1) Tanaka T(1) Kichikawa K(1)	(1)Department of Radiology, Nara Medical University (2)Department of Endoscopy and Ultrasound, Nara Medical University	Correlation between the ABC classification and radiological findings for assessing gastric cancer risk.	Japanese journal of radiology. 33(10), 636-44, 2015
72	Inoue S(1) Abe R(2) Tanaka Y(2) Kawaguchi M(2)	(1)Division of Intensive Care, Nara Medical University (2)Department of Anesthesiology, Nara Medical University	Tracheal intubation by trainees does not alter the incidence or duration of postoperative sore throat and hoarseness: a teaching hospital-based propensity score analysis.	British journal of anaesthesia. 115(3), 463-9, 2015
73	Ueda T(1) Kawakami R(1) Nishida T(1) Onoue K(1) Soeda T(1) Okayama S(1) Takeda Y(1) Watanabe M(1) Kawata H(1) Uemura S(1) Saito Y(1)(2)	(1)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University (2)Department of Regulatory Medicine for Blood Pressure, Nara Medical University	Left Ventricular Ejection Fraction (EF) of 55% as Cutoff for Late Transition From Heart Failure (HF) With Preserved EF to HF With Mildly Reduced EF.	Circulation journal. 79(10), 2209-15, 2015
74	Nakai Y Tatsumi Y Miyake M Anai S Kuwada M Onishi S Chihara Y Tanaka N Hirao Y Fujimoto K	Department of Urology, Nara Medical University	Expression of ferrochelatase has a strong correlation in protoporphyrin IX accumulation with photodynamic detection of bladder cancer.	Photodiagnosis and photodynamic therapy. 13, 225-32, 2016
75	Sho M(1) Akahori T(1) Nagai M(1) Satoi S(2) Yanagimoto H(2) Kinoshita S(1) Yamamoto T(2) Ikeda N(3) Kwon AH(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Surgery, Kansai Medical University (3)Department of Surgery, Nara Prefecture Western Medical Center	Central Pancreatectomy with Double Pancreaticojejunostomy.	Journal of the American College of Surgeons. 221(2), e15-9, 2015
76	Nakai Y(1) Tanaka N(1) Shimada K(2) Konishi N(2) Miyake M(1) Anai S(1) Fujimoto K(1)	(1)Department of Urology, Nara Medical University (2)Department of Pathology, Nara Medical University	Review by urological pathologists improves the accuracy of Gleason grading by general pathologists.	BMC urology. 15, 70, 2015
77	Onishi T(1) Omokawa S(1) Shimizu T(1) Fujitani R(2) Shigematsu K(3) Tanaka Y(1)	(1)Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Orthopedic Surgery, Yao General Hospital (3)Department of Orthopedic Surgery, Higashiosaka City General Hospital	Predictors of Postoperative Finger Stiffness in Unstable Proximal Phalangeal Fractures.	Plastic and reconstructive surgery. Global open. 3(6), e431, 2015

小計

78	Yamamuro K(1) Makinodan M(1) Kimoto S(1) Kishimoto N(1) Morimoto T(1) Toritsuoka M(1) Matsuo K(1) Takebayashi Y(1) Takiata T(1) Takahashi M(1) Tanimura Y(1) Nishihata Y(1) Matsuda Y(1) Ota T(1) Yoshino H(1) Iida J(2) Kishimoto T(1)	(1)Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, Nara Medical University (2)Faculty of Nursing, Nara Medical University	Differential patterns of blood oxygenation in the prefrontal cortex between patients with methamphetamine-induced psychosis and schizophrenia.	Scientific reports. 5, 12107, 2015
79	Tanaka Y(1) Nakayama T(2) Nishimori M(3) Tsujiura Y(2) Kawaguchi M(4) Sato Y(5)	(1)Central Operation Room, Nara Medical University (2)Department of Health Informatics, Kyoto University School of Public Health (3)Department of Anesthesiology, University of Tokyo (4)Department of Anesthesia, Nara Medical University (5)Department of Anesthesia, Jichi Medical University	Lidocaine for preventing postoperative sore throat.	The Cochrane database of systematic reviews. (7), CD004081, 2015
80	Soeda T(1)(2) Uemura S(2) Park S.J(3) Jang Y(4) Lee S(5) Cho J.M(6) Kim S.J(6) Vergallo R(1) Minami Y(1) Ong D.S(1) Gao L(1) Lee H(7) Zhang S(8) Yu B(8) Saito Y(2) Jang J.K(1)(6)	(1)Cardiology Division, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School (2)First Department of Medicine, Nara Medical University (3)Division of Cardiology, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine (4)Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University College of Medicine (5)Queen Mary Hospital, Hong Kong University (6)Division of Cardiology, Kyung Hee University (7)Biostatistics Center, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School (8)Department of Cardiology, 2nd Affiliated Hospital of Harbin Medical University, The Key Laboratory of Myocardial Ischemia, Chinese Ministry of Education	Incidence and Clinical Significance of Poststent Optical Coherence Tomography Findings: One-Year Follow-Up Study From a Multicenter Registry.	Circulation. 132(11), 1020-9, 2015
81	Ueha T(1) Akahane M(2) Shimizu T(1) Uchihara Y(1) Morita Y(3) Nitta N(3) Kido A(1) Inagaki Y(1) Kawate K(4) Tanaka Y(1)	(1)Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Public Health, Health Management and Policy, Nara Medical University Faculty of Medicine (3)Department of Biomedical Engineering, Doshisha University (4)Department of Arthroplasty and Regenerative Medicine, Nara Medical University	Utility of tricalcium phosphate and osteogenic matrix cell sheet constructs for bone defect reconstruction.	World journal of stem cells. 7(5), 873-82, 2015
82	Nakanishi Y Omokawa S Kobata Y Shimizu T Kira T Onishi T Hayami N Tanaka Y	Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical University	Ultrasound-guided Selective Sensory Nerve Block for Wide-awake Forearm Tendon Reconstruction.	Plastic and reconstructive surgery. Global open. 3(5), e392, 2015
83	Naruse K Akasaka J Shigemitsu A Tsunemi T Koike N Yoshimoto C Kobayashi H	Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University	Involvement of Visceral Adipose Tissue in Immunological Modulation of Inflammatory Cascade in Preeclampsia.	Mediators of inflammation. 2015, 325932, 2015
84	Kataoka H Ueno S	Department of Neurology, Nara Medical University	Low FAB score as a predictor of future falling in patients with Parkinson's disease: a 2.5-year prospective study.	Journal of neurology. 262(9), 2049-55, 2015
85	Minami H(1) Nogami K(1) Ogiwara K(1) Furukawa S(1) Hosokawa K(2) Shima M(1)	(1)Department of Pediatrics, Nara Medical University (2)Research Institute, Fujimori Kogyo Co., Ltd.	Use of a microchip flow-chamber system as a screening test for platelet storage pool disease.	International journal of hematology. 102(2), 157-62, 2015
86	Imoto K(1) Okazaki A(1) Onishi F(2) Miyazaki Y(2) Okeda M(2) Yano S(2) Takao Y(2)(3) Gomi Y(2) Ishikawa T(2) Okuno Y(2) Mori Y(4) Iso H(3) Yamanishi K(2)(5) Asada H(1) SHEZ study group	(1)Department of Dermatology, Nara Medical University School of Medicine (2)The Research Foundation for Microbial Diseases of Osaka University (3)Public Health, Department of Social and Environmental Medicine, Osaka University, Graduate School of Medicine (4)Division of Clinical Virology, Department of Microbiology and Infectious Diseases, Kobe University Graduate School of Medicine (5)National Institute of Biomedical Innovation	VZV skin-test reaction, but not antibody, is an important predictive factor for postherpetic neuralgia.	Journal of dermatological science. 79(3), 235-40, 2015

小計

87	Uchihara Y(1) Akahane M(2) Shimizu T(1) Ueha T(1) Morita Y(3) Nakasaki S(3) Kura T(1) Tohma Y(4) Kido A(1) Kawata K(5) Tanaka Y(1)	(1)Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Public Health, Health Management and Policy, Nara Medical University School of Medicine (3)Department of Biomedical Engineering, Doshisha University (4)Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical Center (5)Department of Arthroplasty and Regenerative Medicine, Nara Medical University	Osteogenic Matrix Cell Sheets Facilitate Osteogenesis in Irradiated Rat Bone.	BioMed research international. 2015, 629168, 2015
88	Isonishi A(1) Bennett CL(2) Plaimauer B(3) Scheiflinger F(3) Matsumoto M(1) Fujimura Y(1)	(1)Department of Blood Transfusion Medicine, Nara Medical University (2)South Carolina Center of Economic Excellence for Medication Safety and Efficacy, the Southern Network on Adverse Reactions (SONAR), the South Carolina College of Pharmacy, and the WJB Dorn Veterans Administration Hospital (3)Department of Discovery Research and Technical Assessment, Baxter Bioscience	Poor responder to plasma exchange therapy in acquired thrombotic thrombocytopenic purpura is associated with ADAMTS13 inhibitor boosting: visualization of an ADAMTS13 inhibitor complex and its proteolytic clearance from plasma.	Transfusion. 55(10), 2321-30, 2015
89	Nakada Y(1) Okayama S(1) Nakano T(1) Ueda T(1) Onoue K(1) Takeda Y(1) Kawakami R(1) Horii M(2) Uemura S(1) Fujimoto S(3) Saito Y(1)	(1)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University (2)Department of Cardiovascular Internal Medicine, Nara City Hospital (3)Education Development Center, Nara Medical University	Echocardiographic characteristics of patients with acute heart failure requiring tolvaptan: a retrospective study.	Cardiovascular ultrasound. 13, 27, 2015
90	Kimoto S(1)(2) Zaki MM(1)(3) Bazmi HH(1) Lewis DA(1)(3)	(1)Department of Psychiatry, University of Pittsburgh (2)Department of Psychiatry, Nara Medical University (3)Department of Neuroscience, University of Pittsburgh	Altered Markers of Cortical gamma-Aminobutyric Acid Neuronal Activity in Schizophrenia: Role of the NARP Gene.	JAMA psychiatry. 72(8), 747-56, 2015
91	Hotta K(1) Sho M(1) Fujimoto K(2) Shimada K(3) Yamato I(1) Anai S(2) Harada H(4) Tsujikawa K(5) Konishi N(3) Shinohara N(6) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Urology, Nara Medical University (3)Department of Pathology, Nara Medical University (4)Kidney Transplant Surgery, Sapporo City General Hospital (5)Laboratory of Molecular and Cellular Physiology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University (6)Department of Renal and Genitourinary Surgery, Hokkaido University Graduate School of Medicine	Clinical significance and therapeutic potential of prostate cancer antigen-1/ALKBH3 in human renal cell carcinoma.	Oncology reports. 34(2), 648-54, 2015
92	Enami N(1) Itaya-Hironaka A(2) Yamauchi A(2) Sakuramoto-Tsuchida S(2) Takasawa S(2) Takahashi Y(1)	(1)Division of Neonatal Intensive Care, Perinatal Center, Nara Medical University Hospital (2)Department of Biochemistry, Nara Medical University	The CD38 genotype (rs1800561 (4693C>T): R140W) is associated with an increased risk of admission to the neonatal intensive care unit.	Early human development. 91(8), 467-70, 2015
93	Nakai Y Tanaka N Anai S Miyake M Tatsumi Y Fujimoto K	Department of Urology, Nara Medical University	A Randomized Control Trial Comparing the Efficacy of Antiandrogen Monotherapy: Flutamide vs. Bicalutamide.	Hormones & cancer. 6(4), 161-7, 2015
94	Migita K(1)(2) Nashimoto A(1) Yabusaki H(1) Matsuki A(1) Aizawa M(1)	(1)Department of Surgery, Niigata Cancer Center Hospital (2)Department of Surgery, Nara Medical University	Efficacy of neoadjuvant chemotherapy with docetaxel, cisplatin and S-1 for resectable locally advanced gastric cancer.	International journal of clinical oncology. 21(1), 102-9, 2016
95	Miyake M(1) Tanaka N(1) Asakawa I(2) Tatsumi Y(1)(3) Nakai Y(1) Anai S(1) Torimoto K(1) Aoki K(1) Yoneda T(1) Hasagawa M(2) Konishi N(3) Fujimoto K(1)	(1)Department of Urology, Nara Medical University (2)Department of Radiation Oncology, Nara Medical University (3)Department of Pathology, Nara Medical University	Changes in lower urinary tract symptoms and quality of life after salvage radiotherapy for biochemical recurrence of prostate cancer.	Radiotherapy and oncology. 115(3), 321-6, 2015

小計

96	Tomioka A Tanaka N Yoshikawa M Miyake M Anai S Chihara Y Okajima E Hirayama A Hirao Y Fujimoto K	Department of Urology, Nara Medical University	Risk factors of PSA progression and overall survival in patients with localized and locally advanced prostate cancer treated with primary androgen deprivation therapy.	BMC cancer. 15, 420, 2015
97	Uchida Y(1) Morimoto Y(2) Uchiike T(3) Kamamoto T(1) Hayashi T(1) Arai I(1) Nishikubo T(1) Takahashi Y(1)	(1)Division of Neonatal Intensive Care, Nara Medical University Hospital, Center of Perinatal Medicine(2)Project Promotion Department, Technology and Engineering Division, Ushio Incorporated (3)Central Clinical Laboratory, Nara Medical University Hospital	Phototherapy with blue and green mixed-light is as effective against unconjugated jaundice as blue light and reduces oxidative stress in the Gunn rat model.	Early human development. 91(7), 381-5, 2015
98	Nishiwada T Kawaraguchi Y Uemura K Sugimoto H Kawaguchi M	Department of Anesthesiology, Nara Medical University	Effect of sevoflurane on human hepatocellular carcinoma HepG2 cells under conditions of high glucose and insulin.	Journal of anesthesia. 29(5), 805-8, 2015
99	Murakami K Yamamoto K Sugiura T Kawakami M Horita S Kirita T	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nara Medical University	Biomechanical analysis of poly-L-lactic acid and titanium plates fixated for mandibular symphyseal fracture with a conservatively treated unilateral condylar fracture using the three-dimensional finite element method.	Dental traumatology. 31(5), 396-402, 2015
100	Nishi T(1) Saeidi K(2) Obayashi K(2) Miyata K(1) Tone N(3) Tsujioka H(1) Yamashita M(1) Masuda N(1) Mizusawa Y(1) Okamoto M(1) Hasegawa T(1) Haruoka S(1) Ueda T(1) Kojima M(1) Matsuura T(1) Kurumatani N(2) Ogata N(1)	(1)Department of Ophthalmology, Nara Medical University School of Medicine (2)Department of Community Health and Epidemiology, Nara Medical University School of Medicine (3)Center for Academic Industrial and Governmental Relations, Nara Medical University School of Medicine	The effect of blue-blocking intraocular lenses on circadian biological rhythm: protocol for a randomised controlled trial (CLOCK-IOL colour study).	BMJ open. 5(5), e007930, 2015
101	Nakada Y(1)(2) Takahama H(1) Kanzaki H(1) Sugano Y(1) Hasegawa T(1) Ohara T(1) Amaki M(1) Funada A(1) Yoshida A(1) Yasuda S(1) Ogawa H(1) Anzai T(1)	(1)Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center (2)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University	The predictability of renin-angiotensin-aldosterone system factors for clinical outcome in patients with acute decompensated heart failure.	Heart and vessels. 31(6), 925-31, 2016
102	Yoshida Y(1) Miyata T(2) Matsumoto M(1) Shirota-Ikejima H(2) Uchida Y(2) Ohyama Y(3) Kokubo T(3) Fujimura Y(1)	(1)Department of Blood Transfusion Medicine, Nara Medical University (2)Department of Molecular Pathogenesis, National Cerebral and Cardiovascular Center (3)Molecular and Cellular Biology Laboratory, Graduate School of Medical Life Science, Yokohama City University	A novel quantitative hemolytic assay coupled with restriction fragment length polymorphisms analysis enabled early diagnosis of atypical hemolytic uremic syndrome and identified unique predisposing mutations in Japan.	PloS one. 10(5), e0124655, 2015
103	Murakami T(1) Nakagawa I(1) Wada T(2) Kichikawa K(2) Nakase H(1)	(1)Department of Neurosurgery, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara Medical University	Lumbar spinal epidural arteriovenous fistula with perimedullary venous drainage after endoscopic lumbar surgery.	Interventional neuroradiology. 21(2), 249-54, 2015
104	Shigetomi H(1) Oka K(1) Seki T(2) Kobayashi H(1)	(1)Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University (2)Department of Mechanical Engineering, Graduate School of Engineering and Resource Science, Akita University	Design and Preclinical Validation of the Composite-Type Optical Fiberscope for Minimally Invasive Procedures of Intrauterine Disease.	Journal of minimally invasive gynecology. 22(6), 985-91, 2015
105	Yamamuro K(1) Ota T(1) Iida J(2) Nakanishi Y(1) Uratani M(3) Matsuura H(4) Kishimoto N(1) Tanaka S(1) Negoro H(5) Kishimoto T(1)	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University School of Medicine (2)Faculty of Nursing, Nara Medical University School of Medicine (3)Department of Psychiatry, Nara Prefectural General Rehabilitation Center (4)Department of Psychiatry, Tenri Hospital (5)Department of Education, Nara University of Education	Prefrontal dysfunction in pediatric Tourette's disorder as measured by near-infrared spectroscopy.	BMC psychiatry. 15, 102, 2015

106	Sho M(1) Akahori T(1) Tanaka T(2) Kinoshita S(1) Nagai M(1) Nishiwada S(1) Tamamoto T(3) Nishiofuku H(2) Ohbayashi C(4) Hasegawa M(3) Kichikawa K(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara Medical University (3)Department of Radiation Oncology, Nara Medical University (4)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University	Optimal indication of neoadjuvant chemoradiotherapy for pancreatic cancer.	Langenbeck's archives of surgery / Deutsche Gesellschaft für Chirurgie. 400(4), 477-85, 2015
107	Fujimura T Fujimoto T Hara R Shimmyo N Kobata Y Kido A Akai Y Tanaka Y	The Center for Rheumatic Diseases, Nara Medical University	Subclinical articular involvement in primary Sjogren's syndrome assessed by ultrasonography and its negative association with anti-centromere antibody.	Modern rheumatology. 25(6), 871-5, 2015
108	Sho M(1) Akahori T(1) Tanaka T(2) Kinoshita S(1) Nagai M(1) Tamamoto T(3) Ohbayashi C(4) Hasegawa M(3) Kichikawa K(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara Medical University (3)Department of Radiation Oncology, Nara Medical University (4)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University	Importance of resectability status in neoadjuvant treatment for pancreatic cancer.	Journal of hepatobiliary-pancreatic sciences. 22(7), 563-70, 2015
109	Sugie K(1) Sugie M(1)(2) Taoka T(3) Tonomura Y(1) Kumazawa A(1) Izumi T(1) Kichikawa K(3) Ueno S(1)	(1)Department of Neurology, Nara Medical University School of Medicine (2)Department of Neurology, Nara Prefectural Rehabilitation Center (3)Department of Radiology, Nara Medical University School of Medicine	Characteristic MRI Findings of upper Limb Muscle Involvement in Myotonic Dystrophy Type 1.	PLoS one. 10(4), e0125051, 2015
110	Furukawa S Nogami K Ogiwara K Yada K Minami H Shima M	Department of Pediatrics, Nara Medical University	Systematic monitoring of hemostatic management in hemophilia A patients with inhibitor in the perioperative period using rotational thromboelastometry.	Journal of thrombosis and haemostasis : JTH. 13(7), 1279-84, 2015
111	Saito Y(1) Watanabe M(1) Aonuma K(2) Hirayama A(3) Tamaoki N(4) Tsutsui H(5) Murohara T(6) Ogawa H(7) Akasaka T(8) Yoshimura M(9) Sato A(2) Takayama T(3) Sakakibara M(5) Suzuki S(6) Ishigami K(10) Onoue K(1) CINC-J study investigators	(1)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University (2)Cardiovascular Division, Faculty of Medicine, University of Tsukuba (3)Division of Cardiology, Department of Medicine, Nihon University School of Medicine (4)Department of Nuclear Medicine, Hokkaido University Graduate School of Medicine (5)Department of Cardiovascular Medicine, Hokkaido University Graduate School of Medicine (6)Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine (7)Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Science, Kumamoto University (8)Department of Cardiovascular Medicine, Wakayama Medical University (9)Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Jikei University School of Medicine (10) Department of Cardiology, Saiseikai-Suita Hospital	Proteinuria and Reduced Estimated Glomerular Filtration Rate Are Independent Risk Factors for Contrast-Induced Nephropathy After Cardiac Catheterization.	Circulation journal. 79(7), 1624-30, 2015
112	Nishiwada S(1) Sho M(1) Yasuda S(1) Shimada K(2) Yamato I(1) Akahori T(1) Kinoshita S(1) Nagai M(1) Konishi N(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Pathology, Nara Medical University	Nectin-4 expression contributes to tumor proliferation, angiogenesis and patient prognosis in human pancreatic cancer.	Journal of experimental & clinical cancer research : CR. 34, 30, 2015
113	Kinoshita S(1) Sho M(1) Yanagimoto H(2) Satoi S(2) Akahori T(1) Nagai M(1) Nishiwada S(1) Yamamoto T(2) Hirooka S(2) Yamaki S(2) Ikeda N(3) Kwon AH(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University(2)Department of Surgery, Kansai Medical University(3)Department of Surgery, Nara Prefecture Western Medical Center	Potential role of surgical resection for pancreatic cancer in the very elderly.	Pancreatology. 15(3), 240-6, 2015

小計



114	Nishiwada S(1) Sho M(1) Yasuda S(1) Shimada K(2) Yamato I(1) Akahori T(1) Kinoshita S(1) Nagai M(1) Konishi N(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Pathology, Nara Medical University	Clinical significance of CD155 expression in human pancreatic cancer.	Anticancer research. 35(4), 2287-97, 2015
115	Morita K(1) Nakamine H(2) Nakai T(1) Takano M(1) Takeda M(1) Enomoto Y(3) Yoshii Y(4) Kanno M(4) Ohbayashi C(1)	(1)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University (2)Division of Pathology and Laboratory Medicine, The Japan Baptist Hospital (3)Department of Surgical Pathology, Toho University Ohashi Medical Center (4)Oncology Center, Nara Medical University Hospital	A retrospective study of patients with follicular lymphoma (FL): identification of in situ FL or FL-like B cells of uncertain significance in lymph nodes resected at the time of previous surgery for carcinomas.	Journal of clinical pathology. 68(7), 541-6, 2015
116	Yasuno F(1)(2) Kazui H(3) Yamamoto A(2) Morita N(4) Kajimoto K(5) Ihara M(5) Taguchi A(5)(6) Matsuoka K(1) Kosaka J(1) Tanaka T(3) Kudo T(8) Takeda M(3) Nagatsuka K(5) Iida H(4) Kishimoto T(1)	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University (2)Department of Investigative Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (3)Department of Neuropsychiatry, Osaka University Medical School (4)Department of Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (5)Department of Neurology, National Cerebral and Cardiovascular Center (6)Department of Regenerative Medicine Research, Institute of Biomedical Research and Innovation (7)Department of Psychiatry, Nara Medical University (8)Department of Psychiatry, Osaka University Health Care Center	Resting-state synchrony between the retrosplenial cortex and anterior medial cortical structures relates to memory complaints in subjective cognitive impairment.	Neurobiology of aging. 36(6), 2145-52, 2015
117	Nakamura S(1) Sho M(1) Koyama F(1) Ueda T(1) Nishigori N(1) Inoue T(1) Nakamoto T(1) Fujii H(1) Yoshikawa S(2) Inatsugi N(2) Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Surgery, Kenseikai Nara Coloproctology Center	Erythropoietin attenuates intestinal inflammation and promotes tissue regeneration.	Scandinavian journal of gastroenterology. 50(9), 1094-102, 2015
118	Miyake M(1) Gotoh D(1) Shimada K(2) Tatsumi Y(1)(2) Nakai Y(1) Anai S(1) Torimoto K(1) Aoki K(1) Tanaka N(1) Konishi N(2) Fujimoto K(1)	(1)Department of Urology, Nara Medical University (2)Department of Pathology, Nara Medical University	Exploration of risk factors predicting outcomes for primary T1 high-grade bladder cancer and validation of the Spanish Urological Club for Oncological Treatment scoring model: Long-term follow-up experience at a single institute.	International journal of urology. 22(6), 541-7, 2015
119	Mashitani T(1) Hayashino Y(2) Okamura S(2) Kitatani M(2) Furuya M(2) Iburi T(2) Kuwata H(2) Tsuji S(2) Ishii H(1)	(1)Department of Diabetology, Nara Medical University (2)Department of Endocrinology, Tenri Hospital	Diabetes treatment-related quality of life is associated with levels of self-care activities in insulin injection among Japanese patients with type 2 diabetes: Diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT 8).	Acta diabetologica. 52(4), 639-47, 2015
120	Yamauchi M(1) Fujita Y(1) Kumamoto M(1) Yoshikawa M(1) Ohnishi Y(2) Nakano H(3) Strohl KP(4) Kimura H(1)	(1)Second Department of Internal Medicine (Department of Respiratory Medicine), Nara Medical University (2)Center for Sleep Disorders, Tenri City Hospital (3)Department of Pulmonology, Fukuoka National Hospital (4)Division of Pulmonary, Critical Care and Sleep Medicine, Case Western Reserve University and Louis Stokes Cleveland VA Medical Center	Nonrapid Eye Movement-Predominant Obstructive Sleep Apnea: Detection and Mechanism.	Journal of clinical sleep medicine : JCSM . 11(9), 987-93, 2015
121	Yoshimoto C(1) Iwabuchi T(2) Shigetomi H(1) Kobayashi H(1)	(1)Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University (2)Department of Research and Development, Metallogenics Co., Ltd.	Cyst fluid iron-related compounds as useful markers to distinguish malignant transformation from benign endometriotic cysts.	Cancer biomarkers : section A of Disease markers. 15(4), 493-9, 2015

小計 8

合計  
121

(注) 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。  
報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。  
「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。  
「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

(注) 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。  
「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類（医の倫理委員会）

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・ <input checked="" type="checkbox"/>
・ 手順書の主な内容	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年8回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 目的、適用範囲、利益相反管理委員会、利益相反に関する相談室、自己申告書の提出、委員会における審査等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年6回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 H27. 4. 20 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」講師 本学の医の倫理審査委員会委員長 H28. 2. 19 「遺伝子検査と遺伝子差別」講師 京都府立医科大学 瀬戸山 晃一 先生	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類 (IRB 委員会)

### 3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

#### (1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 臨床研究要綱、臨床研究審査委員会手順書等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

#### (2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 委員会における審査	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

#### (3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
・ 研修の主な内容	
H27. 5. 21 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」講師 本学のIRB委員長	
H28. 6. 30 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」講師 本学のIRB委員長	
H28. 8. 26 臨床研究を開始するにあたって～企画・立案から実施まで～講師 本学の臨床研究センター長	
H28. 10. 15 「臨床研究立案の注意点」～研究者の迷走～講師 本学の臨床研究センター長	
H28. 11. 19 「研究者を守る臨床試験対策」講師 本学の臨床研究センター長	
H28. 2. 12 「臨床研究必見！再確認事項のまとめ」講師 本学の臨床研究センター長	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科が総合的な臨床力を重視するとともにさまざまな専門医養成コースを準備しており、複数科連携プログラムも稼働している。このため各人がそれぞれのニーズに合わせてキャリアデザインを組むことが可能となっている。

内科各科の連携は密接で内科合同カンファレンスを定期的に行うとともに、総合内科専門医養成コースを設けている。

さらに、附属病院として、緩和ケアを含むがん薬物療法および放射線治療に関する知識・技術を修得した総合的ながん専門医を養成するためのプログラムを策定し、「がん薬物療法専門医」養成コースも設けている。

2 研修の実績

研修医の人数	90人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
斎藤 能彦	循環器・腎臓・代謝内科	教授	35年	
木村 弘	呼吸器・アレルギー・血液内科	教授	38年	
吉治 仁志	消化器・内分泌代謝内科	教授	29年	
上野 聡	神経内科	教授	37年	
金廣 裕道	消化器外科・小児外科・乳腺外科	病院教授	37年	
中瀬 裕之	脳神経外科	教授	33年	
谷口 繁樹	心臓血管外科	教授	34年	
田中 康仁	整形外科	教授	32年	
小林 浩	産婦人科	教授	36年	
緒方 奈保子	眼科	教授	33年	
嶋 緑倫	小児科	教授	37年	
岸本 年史	精神科	教授	35年	
浅田 秀夫	皮膚科	教授	32年	
藤本 清秀	泌尿器科	教授	29年	
北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	24年	
吉川 公彦	放射線科	教授	36年	
長谷川 正俊	放射線治療・核医学科	教授	34年	
川口 昌彦	麻酔科	教授	28年	
西尾 健治	総合診療科	教授	34年	
桐田 忠昭	歯科口腔外科	教授	33年	
奥地 一夫	救急科	教授	36年	
三笠 桂一	感染制御内科	教授	36年	
桑原 理充	形成外科	病院教授	21年	
堀川 博誠	リハビリテーション科	病院教授	34年	
大林 千穂	病理診断科	教授	34年	
東条 尚	呼吸器外科	病院教授	31年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画    ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 古家 仁
管理担当者氏名	経営企画課長 川田靖之    医療サービス課 松村哲也    病院管理課 後藤淳宏

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院管理課
		各科診療日誌	医療情報部
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療情報部
		看護記録	医療情報部
		検査所見記録	医療情報部
		エックス線写真	医療情報部
		紹介状	医療情報部
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課
		高度の医療の提供の実績	医療サービス課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科
		高度の医療の研修の実績	各診療科
		閲覧実績	実績無し
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療情報部、地域医療連携室
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室
			各種データ (又は簿冊)
			各種データ (又は簿冊)

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理室	
	第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理室	各種データ（又は簿冊）
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全推進室、医療技術センター	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全推進室、医療技術センター			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全推進室、医療技術センター			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全推進室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全推進室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全推進室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課、医療安全推進室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	病院管理課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全推進室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全推進室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療相談室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全推進室
		職員研修の実施状況	医療安全推進室
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全推進室		
			各種データ（又は簿冊）

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。



(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 古家 仁		
閲覧担当者氏名	経営企画課長 川田靖之	医療サービス課 松村哲也	病院管理課 後藤淳宏
閲覧の求めに応じる場所	各課 執務室		

閲覧の手続の概要

「公立大学法人奈良県立医科大学個人情報取扱規程」を準用した開示(閲覧)手続による。

(診療録等個人情報を含む場合)

1. 開示(閲覧)請求
- ↓
2. 法人内部での決裁
- ↓
3. 総合窓口(県 総務部総務課)への協議
- ↓
4. 決定
- ↓
5. 開示(閲覧)

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	② <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 指針の主な内容：医療事故の予防・再発防止対策ならびに発生時の適切な対策など、本院における医療安全管理体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図ることを目的とした内容になっている。</p> <p>患者に信頼される医療サービスの提供と医療の質的向上を求めていくことを安全管理に関する基本姿勢とし、医療安全管理体制の構築（医療安全管理委員会、医療安全推進室の設置等）、医療安全管理のための院内報告制度等の構築、医療事故発生時の対応方法の確立、職員に対する安全教育・研修の実施等について記している。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無）</p> <p>・ 開催状況：年 12回</p> <p>・ 活動の主な内容：医療安全推進室の活動報告および重要案件の審議等を行う。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年16回 (内3回同じ内容有)
<p>・ 研修の主な内容：「ヒューマンエラーと医療安全」「医療機器安全管理1 放射線の安全管理とMRI」「集中セミナー MRI事故を防ぐために」「医療事故当事者のはなし、医療事故被害者家族のはなし」「これだけは知っておこう～人工呼吸はこんなに危ない～」 「法と倫理、インフォームドコンセント」「医薬品安全管理1 不眠に対する治療」「医療事故調査制度」「DVD視聴研修 チームSTEPPS」「医療機器安全管理2 生体情報モニタに関する安全な使用と管理」「医薬品安全管理2 抗がん剤暴露対策」「医療安全管理」「労働衛生と快適職場環境」</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：①事故報告…リスクマネージャ一会議で事故報告の実施・推進を周知し、各部署へ伝達してもらう。ほかに、研修案内一斉メールでお知らせとして周知。研修会開始前にスライドで周知。中途採用者対象DVDで周知。</p> <p>インシデント・アクシデント報告を全例チェックし、疑義のあるものは室ミーティング、医療安全管理委員会で審議・対応している。死亡報告、オカレンス報告も全例チェックし、事故性の有無を確認し、事故が疑われるものはインシデント・アクシデント報告と同様の対応をしている。（死亡報告は、報告漏れの確認を死亡退院患者一覧との引き合わせで行い、報告がない事例については報告を促している）</p> <p>②その他…○各部署宛に、報告の中で周知が必要と思われる内容を「医療安全ニュース」（医療安全推進室作成）として毎月配付するほか、医療安全情報（医療機能評価機構）も毎月配付している。</p> <p>○認定病院患者安全協議会主催の研修会等の案内を対象部署に案内している。</p> <p>○分析・対策検討会議でインシデント、アクシデントの原因分析と対策立案を行い、医療安全管理委員会、病院運営協議会で承認を得て実施し、検証を行っている。</p> <p>○内部通報窓口とは別に、本年3月より稼働している新インシデント報告システムに「オカレンス報告」を作り、インシデント、アクシデントには至らなかったが、気になったことを報告してもらっている。</p> <p>○院内ラウンドを実施して、実態把握と改善指導を行っている。</p>	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>病院としての感染対策に関する基本的考え方や、感染対策を実行するための委員会や組織、従業員に対する研修や感染発生時の報告体制や対応、患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針、その他感染対策を推進するために必要な基本方針を記載している。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>病院長、感染症センター長、感染管理室長、看護部長、ICD、ICNなど20名を構成委員として毎月1回開催している。</p> <p>また、耐性菌の検出状況や抗菌薬の使用状況、針刺し事故事例や医療関連感染事例や、従業員に対する研修の実施状況などを報告している。医療関連感染事例の対応や本指針、感染対策に関するマニュアル等の制定・改廃の承認についての審議と意思決定を行っている。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年12回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>職員に感染対策として周知・徹底したい知識や方法をテーマとして、全職員を対象に研修を実施している。平成27度は12回の集合研修を実施した。また、研修会に参加できない職員を対象にDVD貸出による研修と、DVD視聴できる環境でない職員にはカンファレンスルームでDVD上映研修を実施し、アンケート形式による受講報告書の提出を義務づけた。</p> <p>未受講者に関しては所属長が未受講理由の報告を書面で提出することで未受講者の状況把握を行っている。</p> <p>またこれとは別に、新規採用および中途採用職員には入職時に研修会を開催し、参加できない職員にはDVD貸出による研修を実施することで当院における感染対策に関する基礎知識と感染対策の推進を行っている。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>病院長を含む病院運営協議会のメンバーを中心とした院内感染防止委員会 (ICC委員会) および医師、看護師、技師、事務等の各所属から代表者を選出して構成するICT委員会をそれぞれ月1回開催し、院内における感染症の発生状況やその対策について報告し、周知徹底を行っている。</p> <p>さらに、これらのメンバーを中心としたメーリングリストを作成し、「感染対策週報」として感染管理室からのメールによる情報発信を毎週行っている。</p> <p>他にも週1回のICTラウンドや毎日行われるICTミーティングなど様々な方策で感染対策の推進・充実に向けた活動を行っている。</p>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>● いま始めるより安全な睡眠薬の選択 (H27. 7. 22)</li><li>● 知っておきたい抗がん剤暴露対策 (H27. 12. 21)</li><li>● 麻薬の取り扱いおよび管理について (H28. 5. 13)</li></ul></li></ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 手順書の作成 (有・無)</li><li>・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>医療安全管理委員会にメンバーとして毎月出席。</li><li>研修会の実施</li><li>必要に応じて手順書の改訂を実施。</li><li>手順書の遵守状況確認。リスクマネージャーにチェック票での確認を依頼し、チェック票を回収している。</li></ul></li></ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<p>製薬会社・インターネット・医事データ等により医薬品情報を収集し、電子カルテに掲載される D I ニュース等より情報の周知を行う。適応外・禁忌薬情報についてはメール等により関連する科医局長に連絡。 未承認等の医薬品取り扱いについては検討中。</p></li></ul>	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容： 新規採用者向けオリエンテーション (医療機器の安全管理) 医療安全管理研修 (医療機器の安全管理 I MRI検査・放射線の安全管理、 医療機器の安全管理 II モニターの安全管理)</li> <li>適宜、病棟単位での勉強会の実施<ul style="list-style-type: none"><li>機器研修 10 件 (内、新規機器研修 5 件)</li></ul></li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	<ul style="list-style-type: none"><li>計画の策定 ( (有)・無 )</li><li>保守点検の主な内容： 人工呼吸器、透析関連機器、除細動器 (AED)、閉鎖式保育器、人工心肺関連機器 (補助循環装置)、電気メス、麻酔器、高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線装置の定期点検の実施</li></ul>
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る情報の収集の整備 ( (有)・無 )</li><li>その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全推進室とともに、PMDA や日本医療機能評価機構からの情報の共有 また、業者からの報告情報の共有を行っている。</li></ul>

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理部門：医療安全推進室より必要に応じ報告する。 医療安全管理委員会：副委員長として参加。 医薬品安全管理責任者：医薬品安全管理会議の報告をする。 医療機器安全管理責任者：改正医療法に基づき、特定機能病院における医療機器関連の保守点検の計画・実施の報告を行う。医療機器安全管理会議の報告をする。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
<p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>緊急安全性情報・安全性速報については周知し周知状況の確認を行う。 適応外使用等については病棟薬剤師・医事データ等より可能な限り情報を収集し周知する。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認新規医薬品等の使用の適否等を審査し決定する委員会設置を検討中</p> <p>・担当者の指名の有無 (有) ・無</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) ・無 )</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>平成 2 8 年 1 0 月 1 日より施行。医療の担い手が医療に関して説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他の説明実施に必要な方法に関する内容としており、説明を行う医療の担い手が適切に医療を受ける者の理解を得るようにしている。</p> <p>同日、委員会を設置。職員教育を含めインフォームドコンセントに関わる業務を行う。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・活動の主な内容：各診療科別に、任意に抽出した患者のカルテの内容をチェックリストに基づき点検を行い、点検結果を診療科にフィードバックする。</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

- ・所属職員：専従（４）名、専任（１）名、兼任（３）名  
 うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（１）名  
 うち薬剤師：専従（ ）名、専任（１）名、兼任（ ）名  
 うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

・活動の主な内容：

- ・医療安全管理のための基本方針の策定及び変更に関すること。
- ・医療事故及びインシデントに関する診療録及び看護記録等の記載事項の確認と指導に関すること。
- ・医療事故等の発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導に関すること。
- ・医療事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認と必要な指導に関すること。
- ・医療事故等の分析と安全管理に係る改善策に関すること。
- ・医療事故等の改善策の実施状況の評価、再発防止に向けての検討に関すること。
- ・医療安全に係る情報提供及び連絡調整に関すること。
- ・患者等や職員からの医療・診察の安全に関する相談及び連絡調整に関すること。
- ・リスクマネージャーによる医療安全推進活動に関すること。
- ・肺血栓塞栓症予防体制の確立に向けた活動に関すること。
- ・呼吸サポートチームの活動の調整、記録物等の保管に関すること。
- ・医薬品安全管理に関すること。
- ・医療機器安全管理に関すること。
- ・その他医療安全対策の推進に関すること。

平成 28 年 9 月 1 日現在、医師、看護師は専従者を置いている。薬剤師は専任であるが、平成 30 年 4 月 1 日までに専従者を配置の予定である。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・ 規程の主な内容：
  
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 監査委員会の設置状況

有・無

- ・ 監査委員会の開催状況：年 回
- ・ 活動の主な内容：
  
- ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）
- ・ 委員名簿の公表の有無（有・無）
- ・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者





- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

医療法施行規則に従い、研修を実施している。インシデント・アクシデント報告の方法・その後の流れを含む本院医療安全の基礎、及び、本院の現状を基に改善策を提案する内容の研修を行っている。平成27年度は前述の内容の他に、医療事故調査制度・インフォームドコンセント・医療事故体験談・チーム STEPPS 等に関する研修を行った。平成29年度は e-ラーニングの導入を予定している。

平成27年度 集合研修は16回開催、うち2回はランチタイムを利用した集中セミナーを実施した。集合研修を録画したDVD視聴（個人報告書提出）による研修も行っている。

未受講者対策として、本人宛受講促進通知を出すとともに、所属長・リスクマネージャーに促進依頼通知を出している。（平成27年度 未受講者6名（0.3%）、2回以上受講率95.2%）

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者（院長）：受講

- ・医療安全教育セミナー2010 夏季（医療安全管理研修）能力向上編 18時間30分
- ・医療安全教育セミナー2010 冬季（ ” ）実習編 22時間

（主催：国際予防医学リスクマネジメント連盟（現 国際医療リスクマネジメント学会））

- ・医療事故調査制度に関する研修会（主催：医療安全全国共同行動）

医療安全管理責任者：受講

- ・2012年医療安全講習会（主催：日本脳神経外科学会）
- ・2014年医療安全講習会（主催：日本脳神経外科学会）

<予定>

- ・医療安全基礎講座2017（主催：国際医療リスクマネジメント学会）

内容：医療安全管理者としての業務を実施する上で必要な講義。

- ・医療安全教育セミナー2017年度（主催：国際医療リスクマネジメント学会）

内容：医療安全管理者としての業務を実施する上で必要な実習。

医薬品安全管理責任者：受講

- ・医薬品安全管理責任者等講習会（主催：日本病院薬剤師会）

医療機器安全管理責任者：受講

- ・平成 19 年度 医療機器安全管理責任者研修会（主催：公益社団法人 日本臨床工学技士会）

(様式第 8)

奈 医 病 管 第 7 1 号  
平成 2 8 年 9 月 9 日

厚生労働大臣

殿

公立大学法人奈良県立医科大学  
理事長 細井 裕司

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

平成 2 8 年 4 月 1 日より、中瀬 裕之 副院長が医療安全管理責任者として配置

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

経過措置期間内に適応外、禁忌等の処方に係る情報について、病棟薬剤師・医事データより可能な限り収集し医薬品管理係で一元管理し医薬品安全管理責任者への報告、院内への周知及び周知状況を確認する体制を整える。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

中瀬 裕之 副院長を責任者として平成 2 8 年 9 月 1 5 日より配置予定

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

- ・院内で定めた基本項目が記載されているよう各部署の同意書の見直しを、平成28年9月30日までに行う。
- ・規程は年内に作成し、平成29年1月1日より施行の予定。同日、(仮称)インフォームドコンセント委員会を設置し、職員教育も含めインフォームドコンセントに関わる業務を行う予定。

#### 5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

斎藤 能彦 副院長を責任者として平成28年9月15日より配置予定

#### 6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

本年3月より稼働している新インシデント報告システムの中に「死亡報告」の項目を作り、全死亡例を報告させている。報告漏れの確認は死亡退院患者一覧と引き合わせて行い、報告がない事例については報告を促している。

通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして管理が定める水準以上の事象が発生したとき等は、リスクマネージャー及び部署内責任者等は、医療上必要な指示を与えたのち、夜間・休日を問わずメールにより管理者(院長)、安全管理責任者、看護部長、経営部長、および、医療安全推進室室員に概要を報告する。連絡を受けた医療安全管理者はリスクマネージャー及び当事者に事情を聞き取り、それを基に管理者も出席している医療安全管理委員会で分析・再発防止を審議している。

#### 7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

公益通報窓口をもって窓口とする。本年10月1日より実施予定。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

(診療情報の把握)

- ・術中に予定外の手術を実施した場合（平成28年4月1日より実施）
- ・手術大量出血：クロスマッチした準備血に加えて RCC5 単位以上の追加輸血を行った場合（平成28年4月1日より実施）
- ・治療・検査に伴う予期せぬ大量出血（1000ml 以上の内出血、外出血を含む）（平成28年4月1日より実施）
- ・手術予定時間を3時間以上超えた場合（平成28年4月1日より実施）
- ・肺血栓塞栓症発症（平成28年6月1日より実施）
- ・アナフィラキシー症状出現（平成28年6月1日より実施）

(安全に関する意識の向上の状況確認)

- ・平成27年11月、「医療における安全文化に関する調査」（国立保健科学院研究チーム、MDB 社承諾版）を初めて実施した。次回は3年後の予定。1回目と比較検証する。
- ・医療事故・インシデント事例を学べる e-ラーニングを導入し、学習とテストを行うことで理解度を確認し、一定以上の点数を取ることで知識が身に付くようにする。
- ・医療安全管理研修時、アンケートを実施。
- ・部署別カンファレンス、学習会等においてリスクマネージャーが確認。
- ・院内ラウンド時等、直接スタッフ等に確認。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

経過措置期間内に既存の委員会の機能を拡張するかたちで設置予定

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

経過措置期間内に上記9. 委員会の規程を改定するかたちで整備予定

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための

予定措置

経過措置期間内に未承認新規医薬品等の使用の適否等を審査し決定する委員会を設置予定。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

経過措置期間内に倫理委員会または臨床研究審査委員会等の審査内容をふまえて作成予定。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

規程の要件を満たした人を選定中。経過措置期間内には設置予定。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

近畿管内特定機能病院グループ別連絡会議に属する施設間で相互に実施予定。(資料添付)

15. 職員研修を実施するための予定措置

年度末に来年度の研修計画を作成し、新年度4月の医療安全管理委員会で承認を得て実施している。(平成27・28年度計画添付)

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

管理者：

<受講済み>

- ・医療安全教育セミナー2010夏季（医療安全管理研修）能力向上編18時間30分  
（国際医療リスクマネジメント学会）

内容：医療安全管理者としての業務を実施する上で必要な講義

- ・医療安全教育セミナー2010冬季（医療安全管理研修）実習編 22時間  
（国際医療リスクマネジメント学会）

内容：医療安全管理者としての業務を実施する上で必要な実習。

- ・医療事故調査制度に関する研修会（医療安全全国共同行動）

内容：制度の概要解説、院内事故調査の方法、医療事故調査・支援センターへの報告等  
具体的な対応等

医療安全管理責任者：

<受講済み>

- ・2012年医療安全講習会（日本脳神経外科学会）

- ・2014年医療安全講習会（日本脳神経外科学会）

<予定>

- ・医療安全基礎講座2017（国際医療リスクマネジメント学会）

内容：医療安全管理者としての業務を実施する上で必要な講義

- ・医療安全教育セミナー2017年度（国際医療リスクマネジメント学会）

内容：医療安全管理者としての業務を実施する上で必要な実習

医薬品安全管理者

<受講済み>

- ・医薬品安全管理責任者等講習会（日本病院薬剤師会）

内容：厚労省、医薬品医療機器総合機構、医療安全対策委員会委員による講義、薬局における医療安全体制に関する講義等

医療機器安全管理責任者

<受講済み>

- ・医療機器安全管理責任者研修会（公益社団法人 日本臨床工学技士会）

内容：医療機器安全管理責任者の育成を目的とした研修会。RCA手法によるグループワークも含む。



#### 17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（3）名
  - うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名
  - うち薬剤師：専従（ ）名、専任（1）名、兼任（ ）名
  - うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
  - うち臨床工学技士：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名
  - うち事務：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名

#### 18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医師：

平成28年4月1日より、就業時間の8割以上を当該業務に従事する者を1名配置している。

看護師：

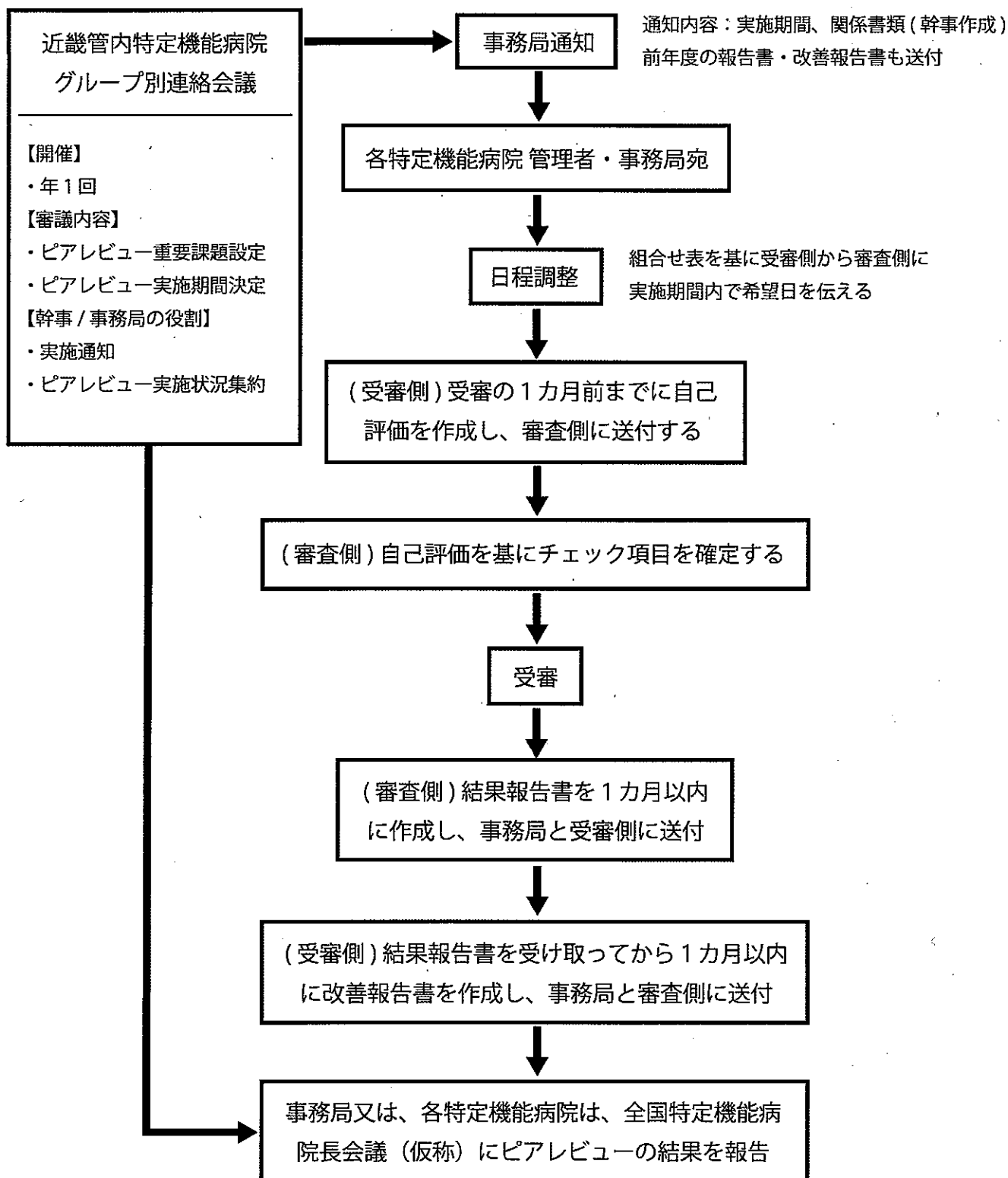
平成28年4月1日より、就業時間の10割を当該業務に従事する者を2名配置している。

薬剤師：

平成28年4月1日より、就業時間の6割以上を当該業務に従事する者を1名配置している。

平成30年4月1日より、就業時間の8割以上を当該業務に従事する者を1名配置する予定。

## 特定機能病院間相互ピアレビューの流れ (案)



## 近畿管内特定機能病院グループ別連絡会議 規約（案）

### （名 称）

第1条 本会議は、「近畿管内特定機能病院グループ別連絡会議（以下「連絡会議」という。）」と称する。

### （目 的）

第2条 連絡会議は、医療安全に関する情報共有、人材育成、教育プログラムの開発、特定機能病院間の医療安全に関する相互技術支援の実施を目的とする。

### （会議事項）

第3条 第2条の目的を達成するため、年1回以上連絡会議を開催し、次の事項について調整を行う。

- 1) 医療安全に関する情報共有及び課題の検討に関すること。
  - 2) 特定機能病院間相互のピアレビューの実施に関すること。
  - 3) その他医療安全に関すること。
- 2 各病院1個の議決権を有し、決議は、出席した病院の総意により決する。

### （組 織）

第4条 連絡会議は、第2条の目的を達成するため、近畿管内の公立大学附属病院及びナショナルセンター等で組織する。また、新たに参加を求める特定機能病院等があった場合は、本連絡会議の承認を得て構成員となることができる。

- 2 連絡会議の構成は、別紙1のとおりとする。

### （幹 事）

第5条 連絡会議の運営を円滑に執行するため、本連絡会議に幹事を置く。

- 2 幹事は、連絡会議の事務を行う。

### （幹事の選任と任期）

第6条 幹事は、構成員の中から予め決められた順番により担当し、任期は1年とする。

### （ワーキングの設置）

第7条 連絡会議は、医療安全に関する重要な課題を検討するため、ワーキングを設置することができる。

### （規約の改正）

第7条 本規約の改正等は、本連絡会議の審議、承認を得て行うことができる。

### （その他）

第8条 本規約に定めるもののほか必要な事項は、その都度協議して定めるものとする。

附則 本規約は、平成 年 月 日から適用する。

## 近畿管内特定機能病院グループ別連絡会議 構成員

病院名	所在地・連絡先
京都府立医科大学附属病院	〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465 TEL 075-251-5111 (代表)
大阪市立大学医学部附属病院	〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町 1-5-7 TEL 06-6645-2121 (代表)
奈良県立医科大学附属病院	〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840 TEL 0744-22-3051 (代表)
和歌山県立医科大学附属病院	〒641-0012 和歌山市紀三井寺 811-1 TEL 073-447-2300 (代表)
国立循環器病研究センター	〒565-0873 大阪府吹田市藤白台 5-7-1 TEL 06-6833-5012 (代表)
大阪府立成人病センター	〒537-0025 大阪市東成区中道 1-3-3 TEL 06-6972-1181 (代表)

平成 28 年 8 月 日現在

## 近畿管内特定機能病院グループ別連絡会議 幹事当番表

年度	幹事病院・連絡会議開催施設
平成 29 年度 (2017 年度)	和歌山県立医科大学附属病院 (和歌山県)
平成 30 年度 (2018 年度)	大阪市立大学医学部附属病院 (大阪府)
平成 31 年度 (2019 年度)	京都府立医科大学附属病院 (京都府)
平成 32 年度 (2020 年度)	国立循環器病研究センター (大阪府)
平成 33 年度 (2021 年度)	奈良県立医科大学附属病院 (奈良県)
平成 34 年度 (2022 年度)	大阪府立成人病センター (大阪府)

平成 28 年 8 月 日現在



平成27年度 医療安全管理研修計画

2015.4.1

番号	月日	時間	所要時間	研修テーマ	内容	対象者	講師
1	4月27日(月)	17:30～	60分	医療安全 ヒューマンエラーと医療安全	ヒューマンエラーと医療現場におけるエラー防止の取り組みを学ぶ 医療機器に関する安全な使用と管理 (放射線に関する安全管理)	全職員	損保ジャパン 医療安全推進室
2	5月25日(月)	17:30～	30～45分	医療機器安全管理研修 I 医療安全 集中セミナー1 DVD視聴研修	MRI検査における吸着事故を防ぐために必要な基礎知識を学ぶ MRI検査における吸着事故を防ぐために必要な基礎知識を学ぶ	全職員	中央放射線部 医療安全推進室
3	5月26日(火)～29日(金)	11:30～13:00 4日間	約35分	共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 MRI事故を防ぐために	医療事故の被害者となった方の体験談を通して、患者安全・患者満足について学ぶ。	全職員	病院管理課 医療安全推進室
12	6月12日(金)①	17:30～	60分	RSTセミナー RST総論	安全な人工呼吸器管理を中心とした呼吸サポータチームの活動について学ぶ	全職員	呼吸サポータチーム
4	6月23日(火) 17:45～	17:30～	30～45分	共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 「法と倫理」 「インフォームドコンセント」	医療者として必要な知識として、法律や倫理、インフォームドコンセントについて学ぶ	全職員	病院管理課 医療安全推進室
10	7月17日(金)①	17:30～	90分	医療安全管理 I 不眠に対する治療 トピックス研修 医療事故調査制度	高齢者や専門のある患者への不眠に対する治療と眠剤使用について学ぶ 10月から施行される医療事故調査制度について学ぶ	全職員	精神医療センター 医師 名古屋大学医学部附属病院 長尾能雅先生
7	7/22(水) 16:00～17:00	17:30～	30～45分	共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 「法と倫理」 「インフォームドコンセント」	医療者として必要な知識として、法律や倫理、インフォームドコンセントについて学ぶ	全職員	病院管理課 医療安全推進室
5	9月10日(木)	17:30～	60分	医療安全管理 II 共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 「法と倫理」 「インフォームドコンセント」	医療者として必要な知識として、法律や倫理、インフォームドコンセントについて学ぶ	全職員	病院管理課 医療安全推進室
11	10月14日(水)②	17:30～	90分	医療安全管理 III 共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 「法と倫理」 「インフォームドコンセント」	医療者として必要な知識として、法律や倫理、インフォームドコンセントについて学ぶ	全職員	病院管理課 医療安全推進室
7	10月19日(月)～23日(金)	11:30～13:00 5日間	30分	医療安全管理 IV 共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 「法と倫理」 「インフォームドコンセント」	医療者として必要な知識として、法律や倫理、インフォームドコンセントについて学ぶ	全職員	病院管理課 医療安全推進室
13	11月16日(月)②	17:30～	60分	医療安全管理 V 共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 「法と倫理」 「インフォームドコンセント」	医療者として必要な知識として、法律や倫理、インフォームドコンセントについて学ぶ	全職員	病院管理課 医療安全推進室
8	11月	17:30～	30～45分	医療安全管理 VI 共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 「法と倫理」 「インフォームドコンセント」	医療者として必要な知識として、法律や倫理、インフォームドコンセントについて学ぶ	全職員	病院管理課 医療安全推進室
9	12月17日	17:30～	30～45分	医療安全管理 VII 共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 「法と倫理」 「インフォームドコンセント」	医療者として必要な知識として、法律や倫理、インフォームドコンセントについて学ぶ	全職員	病院管理課 医療安全推進室
追加	12月5日	17:30～	60分	医療安全管理 VIII 共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 「法と倫理」 「インフォームドコンセント」	医療者として必要な知識として、法律や倫理、インフォームドコンセントについて学ぶ	全職員	病院管理課 医療安全推進室
15	14月1月or2月	17:30～	45分	医療安全管理 IX 共催セミナー ホスピタリティタイムインド醸成研修 「法と倫理」 「インフォームドコンセント」	医療者として必要な知識として、法律や倫理、インフォームドコンセントについて学ぶ	全職員	病院管理課 医療安全推進室

★新規採用者対象 BLS研修 7月 ★RSTセミナー 第4火曜日

★新規採用者対象 BLS研修 7月

平成28年度 医療安全管理研修計画

2016.4.1

番号	月 日	時 間	所要時間	研修テーマ	内 容	対象者	講 師
1	4月25日(月)	17:30～	1日	医療安全 ヒューマンエラーと医療安全	ヒューマンエラーと医療現場におけるエラー防止の取り組みを学ぶ	全職員	損保ジャパン 医療安全推進室
2	5月25日(水)	17:30～	1日	医療機器安全管理研修 I	医療機器に関する安全な使用と管理 (放射線に関する安全管理)	全職員	中央放射線部
3	5月13日(金)	17:30～	1日	医薬品安全管理 I	麻薬の取り扱いおよび管理について	全職員	薬剤部
4	6月21日(火)	17:30～	1日	トピックス研修 チームSTEPS	チームSTEPSキックオフ 院内開始にあたり基本的知識を学ぶ	全職員	国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 種田憲一郎
5	6月28日(火)	17:30～	1日	RSTセミナー RST総論	安全な人工呼吸器管理を中心とした呼吸サ ポートチームの活動について学ぶ	全職員	呼吸サポートチーム
6	7月 11～15日	11:30～13:00 5日間	約35分	医療安全 集中セミナー1 DVD視聴研修	検討中	全職員	医療安全推進室
7	9月 12～16日	11:30～13:00 5日間	約35分	医療安全 集中セミナー2 DVD視聴研修 「チームSTEPS」	検討中	全職員	医療安全推進室
8	10月13日(火)	17:30～	1日	トピックス研修 眠剤について	高齢者やせん妄のある患者への不眠に対する 治療と眠剤使用について学ぶ	全職員	検討中
9	11月25日(金)	17:30～	1日	トピックス研修 (仮) せん妄について	(仮) せん妄患者の看護について学ぶ	全職員	宮崎大学医学部 臨床神経学講座 舟橋秀樹
10	1月25日(水)	17:30～	1日	医療機器安全管理 II モニター管理	医療機器に関する安全な使用と管理	全職員	医療技術センター
11	2月24日(金)	17:30～	1日	医薬品安全管理 II	医薬品に関する安全な使用と管理	全職員	薬剤部 医療安全推進室
12	3月	17:30～	45分	共催セミナー	労働衛生と快適職場環境	全職員	女性研究者支援センター

★RSTセミナー 7月～第4火曜日開催